新京日日新聞

夕刊　三月十五日

本紙 一部五錢 一ケ月壹圓
郵税 一ケ月拾五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三二〇五 營業局專用(3)三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越内之介

議事の進行遲々 會期の延長は不可避

十四日現在政府提出案進捗狀況

大部分は衆議院へ釘付け

【東京國通】議會會期は餘すところ十一日と切迫したが、議事の進行は遲々として進まず兩院通過の法律案は僅かに一件を算するのみで、政府提出法律案八十件が殆ど大部分衆議院に釘付けられてゐる現狀なので果して會期中にこれを消化し得るや否やは極めて疑問視され會期の延長は今や不可避とみられるに至つた、しかし政府としては出來るだけ法案の通過をはかるべく兒玉遞相をはじめ各省次官は總動員して政黨各派の幹部ならびに法案の委員長等を歴訪せしめ議案促進協力方を懇請したが、目下の情勢では相當多數の法律案が審議未了になるのではないかと懸念されてゐる、なほ十四日現在の政府提出法律案の審議進捗狀況は左の如くである

貴族院へ提出したもの　十八件
内本會議で可決し、衆議院へ送附したもの　十六件
委員會が可決したもの　二件

衆議院へ提出したもの　六十三件
内本會議で可決し、貴族院へ送附したもの　九件
委員附託となれるもの　三十一件
未だ第一讀會を開かざるもの　二十三件

臨時租税增徴案 結局附帶決議で通過か

【東京國通】明年度豫算案にともなふ重要法案として成行を注視されてゐる臨時租税增徴法案に關してはすでに衆議院委員會の質疑も終了し、各派とも態度を決定する段取りとなつてゐるが、問題が國民生活の利害に直接重大關係をおよぼすものだけに各派とも異論を有し殊に第一黨たる民政黨内の意見がまとまらぬため相當の曲折が豫想されてゐる、しかし貴族院側の審議期間の問題もあるので政黨側としても出來る限り審議決定を急ぎ十五日中に民政黨および各派の態度が決定すれば直ちに大藏當局と折衝を行ひ十六日の委員會で討論採決し、十七日の本會議に上程の運びに至らしめる意向であるが、結局は本案の臨時的性質に鑑みあまり多くの修正を加へることなく十三年度以降の全面的税制改革に際し考慮するやう附帶決議を一層嚴重にする程度で落着くのではないかとみられる

民政黨の修正條項決定

【東京國通】臨時租税增徴案に關し十四日院内で開かれた民政黨代議士會では增田委員長より委員會において大體一致せる修正條項ならびに附帶決議に關し左の如く報告した

修正條項

一、營業收益税免税點に關し四百圓を六百圓に引上げること
二、燒酎に關する課税は減額說強きも決定に至らざるをもつて委員長に一任のこと
三、取引所税に關し一率に八割の增徴を緩和し且特に短期に重く長期に輕くして思惑を防止することについては委員長に一任すること
四、有價證券移動税の免税は産業組合のみに限定せず商工組合、輸出組合等の公益法人にも及ぼすこと

附帶決議では「本案は一年限り」と明記してゐる、右に對し黨内にはなほ反對意見もあるが、首腦部では大體この修正をもつて臨まんとし、修正總額も大體政府の容認し得べき六、七百萬圓見當のところに落着かんと苦慮してゐる

北鐵接收の三周年記念行事

【哈爾濱國通】舊北鐵接收滿二周年を迎へて哈爾濱局では二十三日當日の記念行事を左の如く擧行することになつた

一、午前九時大直街ウクライナ寺院に全局員集合舊北鐵從事員の殉職者慰靈祭を擧行
一、午前十一時から鐵路クラブにて周局長の訓示の後接收記念祝賀會を開催する
一、午後一時から社員の運動競技會を開催

醫師考試令

民政部では過般醫師法を制定し國内醫師資格向上に努めてゐるが該醫師法に基づく醫師考試令（試驗令）を左の要綱に基づき制定發布した、なほ第一回醫師試驗は今年十月施行される豫定である

醫師考試令制定要綱

一、醫師考試實施の官廳　民政部に於て醫師考試を行ふこと
二、醫師考試の考試委員會の構成
（イ）民政部總務司長を以て考試委員長とすること
（ロ）民政部の高等官の中より考試委員を選定すること
（ハ）其他醫學に關する權威者を考試委員として囑託すること
三、醫師考試施行の場所及其の回數　新京に於て年に一回之を行ふこと
四、醫師考試科目　滿洲衛生委員會に於て決議したる科目を試驗科目とすること

第一部
一、解剖學　二、生理學　三、病理學　四、藥物學

第二部
一、内科學　二、防疫學（消毒法を含む）　三、外科學　四、産婦人科學

第三部
一、内科學（調劑法を含む）　二、外科學（花柳病を含む）　三、産婦人科學　四、眼科學

第一部及第二部は學說考試とし第三部は實地考試とす

五、醫師考試施行の分割　第一部、第二部及第三部に分割して之を行ひ應試者の便宜を計ること
六、醫師考試及資格證書を民政部大臣名にて發行すること
七、醫師考試の應試手數料　各部考試を同時に受けんとするときは十圓　二部の考試を同時に受けんとするときは八圓　一部の考試を受けんとするときは五圓
八、醫師考試施行の細則は別に定むること

駐英ソ大使 日獨協定を誹謗

【ロンドン十三日發國通】駐英ソ聯大使マイスキー氏は十三日ソヴイエトとの間に平和親善大會において演說を試み日獨防共協定を誹謗しつぎの如く述べた

余は全責任をもつて斷言するが、今日のソヴイエトは如何なる外敵若しくは數國結合した侵略に對しても一國の力をもつて充分これを擊退し得る、日獨防共協定は實際上ソヴイエトに對する軍事同盟だが、ソ聯の東西兩國境は過去數ケ年に堅固な要塞工事と萬全の武裝を施した陸軍、強力な空軍により不拔の防禦陣を築いた、同時に經濟上の準備も完全に整つてゐる、平和を愛好する歐洲各國はソヴイエトの側にたつかそれとも反對の道を選ぶか靜かにその決心をまつとしやう

佛國防公債 壓倒的人氣で賣切

【パリ十二日發國通】フランス大藏省は十二日國防公債の第一回分五十億フランを賣出したが壓倒的人氣で直ちに應募超過となり午後五時には早くも受付を締切つた、なほ政府は本日の官報をもつて第一回募債の締切を正式に告示すると共に第二回募債についても發表するものとみられてゐるが第二回募債は十六日乃至十八日行はれる見込みで賣出額は二十五億フランと豫想されてゐる、なほ第一回募債の大成功をおさめたことに對し財界有力筋では次の如くみてゐる

國防公債の發行が大成功をおさめたのは海外逃避資本が流しつゝあることを示すものでその結果他の政府公債全部の値上りを示すことゝなりまた國庫財政も幾分餘裕を生ずるにいたるであらう

民間軍需工場の取締りと改善

陸軍當局研究中

【東京國通】軍需工場の利潤については今期議會においても盛んに論議されたが陸軍省の調査によれば主要軍需工場の利潤は平均一割強、株式配當平均六分強に止まつてゐるので軍需工場は決して不當の利益を得てゐないと陸軍當局はみてゐる、しかしながら軍事費は年々增加し本年度の對民間配給總額約二億六千萬圓に對し明年度は三億圓を突破すべく明後年度以降は更に增加をみるべき傾向になるので一層これ等に對する監督と指導を強化することにより不當利益の餘地を絶滅するとゝもに良品廉價主義の徹底を期する一方民間軍需工業の能力の改善擴充を圖るべく主務局課において鋭意具體案の立案を急いでゐるが目下研究の中心となつてゐる主要點は概ね左の如きものである

一、昭和九年陸達第一號をもつて實施されてゐる民間工場に對する技術監督會計監督制度を擴大し主要工場には專屬監督を置くこと
一、特に會計監督においては專屬監督を置くほかに副監督を設けること
一、原料材料會社と製作會社との直接取引は單價の引下げを困難ならしむる場合あるにより陸軍は可及的に官材交附をなして製作會社に配給すること
一、現在の民間軍需工場中には規模ならびに設備において缺くるところあるもの勘からずこのまゝでは有事に際し支障を來す虞あるにより主務當局と協力し努めてこれ等の擴充改善を指導すること
一、民間工場が規模設備の擴充改善ならびに從業員の增加に對して消極的なのは一面において軍需工業の前途に對する見透しをつけ得ないことにもよるが故になるべく速かにこの見透しを與へるなど能ふ限り便宜をはかること
一、民間工場の經營者中には勝手に軍の名を藉りて從業員の當然の要望を彈壓するが如きものなしとせぬ模樣であるが、かくの如きは工場機密の保持、軍民一致等に多大の惡影響を及ぼす虞れある故にかゝるものに對しては主務當局の嚴重處置をまつこと

三億八千萬圓

增資、未拂込徴收 軍擴に伴ふ事業會社の發展

【東京國通】國防軍備の充實から生産設備の擴充が必要とされ、且つ事業界の活況から事業會社の新設擴張は目覺しいものがあり、新設は勿論既設會社の增資若くは未拂込は最近著しく增加しつゝあるが日銀調査の拂込金調べによると左の如く株式の拂込概數は一月以降四月迄實に三億八千八百餘萬圓に上り、昨年の三倍に達し、しかもこの大部分は增資および拂込徴收であるかくの如く增資および拂込の徴收は株式に拍車をかける結果となり、この傾向は株式高と相俟つて更に顯著にあらはれて來るものとみられてゐる

（單位千圓）

	十一年度	十二年度
一月	三九、九七七	[illegible]
二月	[illegible]	[illegible]
三月	[illegible]	[illegible]（概算）
四月	[illegible]	[illegible]（概算）

財務科長懇談會

本年度より實施された省地方費の移管に依り各省財政は膨脹して財務科は一段と重要性を增大したので民政部地方司では全滿財務科長懇談會を三月十六日民政部會議室に開催して質疑事項を協議することゝなつた

その日〳〵

□ 英軍縮通クレーギー氏を駐日大使に、またしてもリーダされる日本の姿

□ この時日本の外務大臣は戰爭の危機回避は日本の決意一つで可能といふ

□ 民間軍需工場の取締りと改善を陸軍省が計畫、寧ろ遲きに失する嫌ひ

□ 統制ばやりの當今日本、軍需工業の如きがそも民間に行はれてゐるのが不思議

□ 全滿また冬へ返つて白一色といひたいが雪は血色を帶びてゐる、滿洲の感深い

東京オ大會費 四百三十萬圓

【東京國通】第十二回オリンピック東京大會政府補助金は十三日開催された大藏、文部の省議の結果總額五百萬圓の豫算は査定修正され、遂に總額約四百卅萬圓が承認された更に冬季競技に對しては日本において開催決定の場合改めて國庫補助金を計上することに諒解なつて、こゝに大會政府補助金總額五百萬圓は略々原案に近い金額が査定を通過することゝなり、東京大會開催の財的危機はこゝに全く解消明るくその行進譜を奏でることゝなつた

新舊海員組合 大合同成る

【神戸國通】海員待望の新舊兩海員組合合同はついに十三日午後九時大阪遞信局神戸海事部樓上において藤原大阪遞信局長立會裡に双方代表約三十名が出席、堀内組合長、藤原新組合代表が挨拶を述べたのち握手を行ひ合同聲明書を發表して手打式を終へた、こゝ五六日中に組合本部樓上で華々しく合同式ならびに合同大會を擧行するはずであるが、なほ阪神組合を除名された赤崎一派の新進組合運動に對し藤原局長は海員の幸福は戰線統一にあり、海上大衆の大部分を更生組合に合流するものとの見解を持してゐる

郵船爭議 解決點に到着

【東京國通】郵船明朗會爭議は會社側と爭議團首腦部との折衝奏功し、漸く解決點に達したので大阪側爭議團員も東京に合流することゝなり、十四日夜上京、明朗會本部に入つた、かくて十五日中に大谷社長と會見兩者とも面目の立つ條件の下に圓滿に妥協解決した上、直ちに爭議團は明治神宮に參拜して解團式をあげる豫定である

人事往來

着京

▲提武氏（商）十四日來京ヤマトホテル
▲高口清氏（同）同
▲鳥居軍夫氏（同）同
▲中川太作氏（日滿商事）同
▲津村昌氏（朝鮮總督府）同國際ホテル
▲湯淺正夫氏（乾安蒙租局）同
▲鈴木茂樹氏（官吏）同
▲松本忠一氏（同）同
▲深澤潤次郎氏（第一徴兵京城支店長）同愛國ホテル
▲山下卓男氏（同社員）同
▲南里武氏（滿藏）同
▲山田與四郎氏（官吏）同向陽ホテル
▲川又甚一郎氏（檢察官）同
▲村瀨文雄氏（造兵廠長）同
▲西村喜藏氏（會社員）同滿蒙旅館
▲蒋上渉氏（商）同
▲谷茂氏（同）同
▲鹽尻彌太郎氏（奉天競馬クラブ理事）同
▲西本文彌氏（官吏）同
▲深林富之助氏（同）同國都ホテル

出發

▲小日山直登氏 十四日發大連へ
▲加藤金保氏 奉天へ
▲杉原正氏 同
▲井上信氏 同
▲千種峰藏氏 同
▲河野二男氏 同奉天へ
▲太田三郎氏 同
▲清水喜軍氏 同圖們へ
▲川江正敏氏 同
▲篠塚義男氏 同公主嶺へ
▲齋藤俊虎氏 同
▲酒井鍋次氏 同
▲川島修氏 同
▲耳野顯良氏 同ハルビンへ
▲山本敏氏 同
▲柴沼肇氏 同
▲堀之内久三郎氏 同奉天へ
▲片平好哉氏 同圖們へ
▲櫻井熊松氏 同琿春へ
▲加賀爪誠氏 同延吉へ
▲柴山長一氏 同扶餘へ
▲藤野確氏 同奉天へ
▲奥村正信氏 同
▲廣岡勝治氏 同大連へ
▲岸本幸男氏 同鞍山へ
▲澤口俊雄氏 同ハルビンへ
▲吉田八郎氏 同
▲後藤基次氏 同
▲武藤廣人氏 同奉天へ
▲松島親造氏 同吉林へ
▲川村龍雄氏 同大連へ
▲島田信吉氏 同
▲河井豐氏 同開原へ
▲飯塚和吉氏 同奉天へ
▲守山肇人氏 同
▲高橋久雄氏 同富錦へ
▲大槻洋四郎氏 同大連へ
▲森要三郎氏 同北安鎭へ
▲中村武雄氏 同ハルビンへ
▲岡春雄氏 同
▲竹中釧三氏 同
▲筒井章氏 同
▲清水富三郎氏 同大連へ
▲猪口理德氏 同雄基へ

歌はぬ樂譜（八十九）

（續上篇）山中峯太郎 作　水門讓二 畫

第二の門出（二）

――石田さんの所へ、若い女が？

それは、あき子夫人にとつて、寢耳に水の驚きだつた。

『どんな女なんですの？』

たづねる聲が、思はず高くなつた。村上校長は、しかし妻の驚きを押しのけるやうに

『大した事ては、ないさ思ふんだが、今日も受附へ來たさ小使が話してたのだ。非常にモダンな女だといふんだが』

『まあ、それでも、石田さんが沼津へ行つてるのを、その女は、知らずに來るんですのね』

『無論、さうだらうが、その前からたづねて來てる、さいふところを見るさ、石田の下宿も、知らずにゐる女らしい……』

『何でせう、それは？』

『何か分らないゝが、石田に渡してくれさ、手紙を小使が頼まれて、それを、石田は讀みもせず廊下で破つたさいふのだから』

『まあ、それならば……』

あき子夫人は、ホッさしながら

『けれざも、前に何か關係でもあつたのぢや、ないんでせうか』

『それは分らん。石田が歸つて來たら、訊いて見やうさ思ふのだがね』

『あなた！』

『なにかい？』

『男の方は、そんなことかも知れませんけれざ、キミ子……女には、さういふことが、大事件ですことよ。キミ子が聞いたら、それこそ、どんなに悲しく思ふでせう！』

『それだから甘いさいふのだお前は』

『いゝえ、甘いては、すまされませんわ。よくその女のことを、調ていたゞかなくては……』

『だから、本人に、石田にきいてみやうさいふのだ』

『キミ子が聞いたら、ほんたうに可哀さうですことよ』

『いや、それがだ。生徒の間にももう大分、噂になつてるらしい。キミ子も或は、聞いてるかも知れん』

『まあ、どうしたらいゝでせう、そんなことになつて』

あき子夫人は、まざ〳〵さ眉をひそめた。

『ほざんざ毎日、受附へ來るさいふから、今度は私が、會つてきいてみやうかさ思ふんだがね、その女に』

『何さいふ圖々しい女なんでせう！』

『小使も、呆れてはゐるんだが』

『では、先生がたも、皆、知つてゐるんぢやないんですの』

『評判してゐるやうだ。學校の風紀にも關することだし、それが何うも、來る時間が分らないので、つかまへるわけにも行かん』

『ぜひ、あなた、つかまへてギユウギユウ言はせておやりなさいましよ』

あき子夫人さも憎らしく、まだ見ないその女が、目の前にゐるやうに言つた。

『しかし、石田の平生の容子なり態度から見てもだ。あれが、さういふ女に關係してるさは思へない。私は、石田を信じてゐる』

『私も、さうは思ひますけれざ』

さう思ひたい、キミ子の爲に、そんなことが、石田さんに少しでも、あつてはならない。あき子夫人は

『兎に角、お仕度してきますわ』

夕食の仕度に、良人の書齋から臺所へ、曲り廊下を急いでくるさ出あひがしらに。

『あら……』

女中のおサクだつた。

『奥さま、お電報が參りまして』

『まあ、どこから？』

受け取つて見るさ、良人の名宛なので、そのまゝ書齋へあき子夫人は引返して來た。

『何だ、電報か』

夕刊をひろげかけてゐた村上校長は

『讀んでみなさい』

ひろげて見るさ、あき子夫人は目をかゞやかした。

『けふ歸ります石田、まあ、あなた、お話がまさまつたんですわ』

全滿冬に返つて 白一色に彩らる
でも決して晩雪じやない 氣溫は降りそう

十四日の日曜には郊外への人出五千、到る處に讃春譜が奏でられたが、午後から天候一變深更午前二時頃には雪となり十五日午前十時迄の積雪量一・五センチ國都を白一色に塗りつぶし再び冬に逆戻りして終つた、この降雪範圍は新京を中心に南は四平街、北は牡丹江の三ヶ所で原因は渤海々上の七百五十八ミリ、敦化附近の七百六十ミリの低氣壓の不連續線によるもので天候次第に恢復してくるが氣溫は少しく降るだらうと見られてゐる、十五日の最低は零下十度八、尙新京に於る平年平均の最終降雪は四月廿二日、今まで最記錄は昭和三年の五月十六日となつてゐるのでまだ〱降雪は珍らしいことではないと云はれてゐる

郵船爭議 妥協點に達す

【東京國通】半ヶ月にわたつて持久戰を續けてゐた郵船の爭議は、會社側も籠城側との會見を漸く認め、十一日夜來豫備折衝を續けてゐたが、籠城組代表者は十二日朝會社側の渡邊副社長、浦田海務課長と會見、十三日午後八時に至るまで長時間にわたる折衝を續けた結果、漸く妥協點の一致をみた模樣で、十六日頃正式に會社側と會見、聲明書を双方から發表し、圓滿手打となる模樣である

暖かくなつても のんびりは困ります 近頃こそ泥頻々！

暖かになり氣がのんびりすると春氣になる、それを待つてるこそ泥がゐる、十四日午後のこそ泥三件＝吉野町二丁目師寶堂では二時頃また祝町原田商會では二時半頃、何れも店先きに自轉車を置き施錠を忘れ何者かに乘り逃げされた櫻木町森鹿六郎氏は鐵梯子四個を家の脇に放置し午後三時頃竊取されてゐるのを發見新京署に屆け出た

幾千代姐さん 三味線御難

十三日午後十時頃三笠町料亭「永樂」に三十四、五歲位の一邦人が登樓遊興の上翌朝歸つたが間もなく同料亭幾千代さんの大事な商賣道具三味線が盜まれてゐた事が判明慌てゝ屆け出でた處間もなく市內某質屋に二十圓で入質してゐた事實があり、幾千代さんのものに違ひないことが判明した、人相着衣等に依り犯人の逮捕は時間の問題になつてゐる
……この幾千代さん……永樂に抱へられてからまだほんの二、三日にすぎず然もこの三味線は博多で百圓も出した飛切り上等ものだけに一時は新京のお客さんは本當にたちが惡いと云つては嘆いてゐたが元の鞘に納つた三味線を眺めて大喜び

旅順女子師範 修學旅行團

旅順女子師範學校第一次修學旅行團二十七名は二十二日午後一時十五分着列車で來京、愛國ホテルに投宿、二十三日新京見學の上二十四日吉林へ往復、同日午後十二時發列車でハルビンに赴く豫定である

拳銃强盜犯人逮捕に 首都警察躍起
匪賊くづれの所業と目さる

昨十四日深更の南關署管內[illegible]倫に惹起された自衞班長の慘虐な殺人事件はまた〱早春の巷に異常な戰慄を捲き起し所轄首都警察廳では事件發生と共に南關署を搜査本部に、腕利きの刑事を總動員して不眠不休の活動を展開してゐるが、兇行現場には何等の證據物件なく搜査は困難視されてゐるが、逮捕に馳けつけた自衞班長をしかも二挺の拳銃を持つて一發のもとに射殺した不敵なやり口から犯人は匪賊くづれと斷定されるに至り、搜査當局では被害者郭の語る犯人の人相其他の特徵を有力なより所として特別市內は勿論長春縣下一帶に非常手配をなし自衞團も協力して嚴重探索中であるが、犯人逮捕は二三日中の問題と見られてゐる

輸血が齎す 日蒙親善美談
奉天醫大病院に咲く

興安南省東科中旗公署警務科長吉林彥扎布氏、（蒙古人）は昨年來胃病にて自宅にあり靜養中であつたが最近病勢昂進し三月五日奉天醫大病院に入院手術したが出血甚しく瀕死の狀態に陷つたので之が附添として看護にあたつてゐた同旗公署高岡巡官は科長の瀕死の狀態を見るに忍びず自ら進んで醫師に輸血を申出で前後二回に亘り多量の輸血を施し危急を救つた爲め科長の病勢は遂日好轉其後の經過良好一命を取り止める模樣である、なほ同科長は蒙古人中稀に見る親日家として上下の信望厚く高岡巡官も亦犧牲的精神の旺盛なる模範警察官として部內の人望高く此の美談は日蒙親善の表徵として日蒙人間に噂を高めてゐる

軍犬登錄犬審査

滿洲軍用犬協會新京支部會員犬登錄審査は二十一日午後一時から新京支部訓練所內に於て執行されるが未登錄犬所有者は洩れなく受審されたいと

春を呼ぶ（四）
國都躍進譜に 土建界は待機す
……すでに前奏的な動き

春！解氷！工事！冬眠の待機に幾ヶ月を過した土建業者は「春來りなば吾が世の天下」と、文字通り建設の躍進譜に步調を揃へて吾が世の春を謳歌せんと虎視眈々の狀態にある、遙か南國の夢を乘せて春風そよ〱と滿蒙の天地を訪れる頃、數百萬の山東の工人は簡易な寢具を背に、着のみ着のまま王道樂土を目指してドットばかりに押し寄せる、芝罘龍口から甲板船客となつて、或は鐵路山海關を經て、春に帆を上げたかたちで鄕里を後にする彼等にとつてこそ、春は待ちに待ちあぐんだ希望の活力素であらう

×××　×××

解氷を目睫に、土建業者は今年の計畫、豫想を胸中に秘めてゐる、建築材料の暴騰は將に彼等にとつて晴天霹靂の觀があらう、本年度新規工事は豫算の編成替設計變更に依つて何とかなるが、昨年度からの繼續事業は彼等にとつて惱みの種である、春來れども儲けは見當らずと弱音を吐く業者も相當にあるらしい、在京土建業者は協會加盟者が九十七その他を入れて大小二百五十、昨年度の請負高がザッと二千五百萬圓、本年新規事業に伴ふ土建工事は昨年より多くとも少いことはあるまいと協會側ではみてゐる、目尾しいものを拾つてみると需品處の五百三十萬圓、建設局の百六十萬圓、滿炭の三百萬圓を筆頭に東拓七十萬圓、名古屋ホテル四十五萬圓、寶山百貨店三十五萬圓、滿鐵事務局八十萬圓、市公署關係卅八萬圓、三菱の店舖計畫廿四萬圓等、土建景氣は下り坂だと謂つても國都景氣を左右するだけに豪勢なものだ、本年の民間側工事も出振り好調で、頭道溝埋立地に既定計畫の五分の一の店舖が建てられるほか、相當數の計畫もあつて壹千百萬圓を下るまいとみられる、材料昂騰に伴ふ彼等の見透しを訊くに

鐵鋼材の四割五分方の暴騰を初め、平均二割五分方の騰貴ですが、滿洲では大した材料の動きもないので新規工事に關しては樂觀してゐます、需品處でも既に豫算の編成替をやつてゐますし、計畫變更に着手してゐるところもあつて幾分やり難い程度だと思ひます、たゞ昨年度からの繼續工事には相當痛手を蒙りますが當事者間に種々折衝してやる方法もあるし、材料の買付もしてゐるだらうから直ちに赤字となることはないでせう

と嘘も隱しも無いところを語つてゐる

×××　×××

工事關係者の間では本年の施行方針に關しボツボツ座談會が開催されてゐる、十五日の軍經理部、十八日の電業支店主催を皮切りに、春の躍光はこの方面にも兆してきた、土建業者の春！それはアベックのサラリーマン達の春とは凡そ緣遠いものであり力一杯の腕を振つて、成るか成らぬか丁か半かの眞摯的なものだ、纏て訪れるであらう黃塵の渦中にあつて汗と脂で鬪ふ土建業者の春こそ國都の華であらう（寫眞は寶山デパートの建築現場）

第廿六回福民彩票
頭彩 二一、五二〇 新京、奉天、吉林、鞍山へ落つ

▲頭彩　二一、五二〇
- 甲　奉天榮商會
- 乙　鞍山北川金光堂
- 丙　吉林單殿臣
- 丁　新京金泰洋行

▲二彩　九、七五六
- 甲　新京金泰洋行
- 乙　圖們泰隆洋行
- 丙　奉天森洋行
- 丁　奉天西尾洋行

▲三彩　四四、八〇八
- 甲　安東高野洋行
- 乙　奉天森洋行

▲四彩（廿三本）
- 丙　奉天榮洋行
- 丁　新京松尾商店

二〇、八〇六　二三、九七八　四九、九一九　二四、四六九　六、六七五　四一、〇一〇　七、一四七　九、五四四　三九、一六七　一八、二五一　三一、〇七七
四〇、三九一　四二、三四二　四〇、七八五　四八、九〇〇　一六、六八八　三三、四三一　二五、四二三　六、七一六　二八、九五四　五、七五三　三一、八七三

△五彩（四十八本）
二、七四一　三〇、八二八　二六、六一二　三七、七六二　一五、一七五　二一、八〇八　九、九九六　一三、四〇一　一一、七五三　二四、五七二　三三、九九六　四三、二三〇　一六、四五八　二七、六六四　二四、〇五六　四七、八一四　三二、四〇一　四、八一八　六、九一三　七、五三六　三〇、三五七　三八、一一九　二〇、一四〇　二五、二一七　三四、九二五
三六、七二七　四一、二三一　三、四九〇　二六、九一八　二三、一二〇　三〇、九〇九　一四、七三三　二八、七九七　四九、〇六三　四〇、九四〇　三六、五七四　二七、〇四二　一五、五三〇　四二、四四〇　九、一二八　二四、五三八　一五、四八二　一三、八二〇　三〇、二三八　四四、二三〇　三五、四四二　二八、六一六　四七、〇五〇　三四、〇六〇

馬車、人力車の改善は 先づ新京驛から
從業員の服裝、車體から着手

滿洲名物として旅行者の第一印象に殘る馬車洋車は全滿各都市においてはまた愛嬌ある交通機關として一般市民からも大いに重寶がられてゐるがとかくその從業員の不潔不衞生、時代遲れな車體の危險等に就いては適當な改善策が叫ばれていたところ今回新京においては首都の面目にかけても各都市に先がけて改善案を實施すべく取締當局、驛、觀光協會、首都乘用馬車人力車營業組合等で協議中であつたが漸く次の實行案を樹立し陽春の觀光シーズンを期して實施することゝなつた、それによると全市に散らばる首都乘用馬車人力車營業組合員一同を一時に改善する事は困難なので取敢へず觀光、旅行客の第一印象に燒きつく驛構內を職場とする馬車二百台、人力車四十台を組合別途會計に獨立させ、それら從業員の服裝帽子、帽章等を制定し、馬車洋車の車體を改良し淸楚安全を第一モツトーにして一見して驛構內馬車洋車なることを判別せしめ國都旅行者に好感を與へるはもちろん一般市民にも大いにサービスすることゝなつたが機宜の處置として期待されてゐる

警察寫眞講習會 けふ開講

民政部警務司、首都警察廳共同主催の警察寫眞講習會第一日は十五日午前十時から民政部會議室に開催、全滿各警務機關より選拔された寫眞技士十三名は先づ民政部岩田事務官より一場の訓示と注意、指示事項の示達を受けて午前中を終り午後は全員で首都警察の鑑識設備其他を見學して第一日を終了したが、いよ〱明十六日から一ヶ月間、同廳司法科分室を會場に斯界の一人者遊佐技士はじめ下田鑑識股長、本邊、玄番技士を講師として刑事寫眞を中心に鑑識一般の本格的講習に移ることになつてゐる

滿鐵家族慰安演藝大會打合せ會

既報、滿鐵社員新京聯合會婦人部、福祉部共同主催で來月一日滿鐵創業記念日に家族慰安演藝大會を催すことゝなり十五日午後一時から事務局會議室で打合せ會を開き出演者演藝種等を決定する

鍼灸按師會生る

最近の傾向として凡ゆる業者が自己の業權擁護の城廓を造るべく或は組合を組織し或は聯合會を組織し同業者の統一强化を圖りつつあるが新京の鍼灸師五十一名も時勢の波に遲れてならじと從來分散せる同業者の統一を圖るべく新京鍼灸按師會を創立すべくかねて當局に認可申請中であつたが去る五日正式許可されたので十五日正午より記念公會堂に發會式を擧行

一、治療金問題に關する件
一、役員決定に關する件

並に今後の鍼灸按師會の諸問題を協議午後三時終了した

馬場憲兵隊長 赴任の途に

東京憲兵隊長に榮轉した前新京憲兵隊長馬場龜格大佐は家族同伴十五日午前十時新京驛發列車で在任三ヶ年餘に亘る赫々たる幾多の業績をのこして出發した、驛頭には在京日滿陸海軍將星、駐滿大使館、關東局代表者、中野總領事代理、張國務總理、呂民政部大臣、李交通部大臣、今村參謀副長民間各機關代表等の盛大な見送りがあり螢の光のメロデーに名殘りを惜しみつつ一路任地に向つた、尙名古屋憲兵隊長に榮轉した荻根丈之助大佐も同列車で赴任した

芳賀少佐赴任

近衞師團に榮轉した滿洲國軍政部顧問芳賀豐次郎少佐は十五日午前十時發列車で赴任の途についた、同氏は事變當時長春守備隊長として勇名をとゞろかした猛將で驛頭には日滿軍關係、附屬地各機關代表等盛大な見送りがあつた

大阪興國商業生 廿八日來京

大阪興國商業學校修學旅行團一行七十八名は來る二十八日午前八時來京、同日午後三時發列車で奉天に出發の豫定である

大同學院視察團

大同學院北滿視察團內蒙古班四十四名は十五日午後八時白城子から、熱河班二十三名は午後十時着ひかりでそれ〴〵歸校する

輸組店員講習會

店員の素質向上を目的とする新京輸入組合の店員講習會は十五日午前十時より記念公會堂に於て開催され全店員八十五名は大阪府立貿易館長井野岡氏の『色彩の感情』新京商業學校荻野敎諭の『商業美術に關する認識』等の講話を聽き有益な一日を送つた

實業協會內地視察團募集締切り

日滿實業協會滿洲支部の內地視察團募集は愈よ本日をもつて締切となつたが、應募者は北滿班約廿名（新京募集の分）に達する見込で曩に發表せる日程を一部變更二十四日新京出發北滿、南滿兩班は名古屋に於て實業協會總會開催日である四月五、六日に落合ふ事となつてゐる

ニュージランド大會で 村社、戸上兩選手優勝

【オークランド「ニュージランド」十三日發國通】ニュージランド陸上競技選手權大會は、遠征中の我戸上、村社兩選手を迎へて十三日オークランドで華々しく擧行し、村社選手は三哩でニュージランドのナンバーワン・サビダンと對戰、十四分一秒六といふ驚異的大記錄を出し輕くこれをおさへて優勝した、一方フィールド競技に出場した戸上選手は走巾跳で廿三呎十一（七米二六四）を跳び、三段跳では五十呎（十五米二四〇）の記錄でそれぞれ優勝した

あす（十六日）

▲敎化講習會第二日、午前九時半より、滿鐵白菊町俱樂部
▲特別市淸掃週間第一日、大經路警察署管內淸掃
▲工藝座談會、午後五時半、大興ビル地階食堂

今晩の主なる演藝放送

▲七・三〇原節子を圍む座談會▲八・二〇室內樂（東京）アウグスト・ユンケル外▲八・五〇浪花節「林藏の最後」（東京）早川燕平▲一〇・〇〇淸元「梅柳中宵月」（奉天）吉岡きみ

映畫評 "戰國群盜傳"

—PCL前進座提携第一回作—

◇…前進座PCL提携の第一回作、三好十郎の原作台詞、梶原金八のシナリオ、演出には瀧澤英輔といつた面々を得て、この映畫の製作スタツフは當代日本時代映畫中の最高のものであると言はれやう、そしてこれは最近における東寶系映畫の强化への積極的な一面の現はれとして、より優れた日本映畫製作の可能性を物語つてゐるものとも言はれやう、隨つて先づこゝで取り上ぐべきものは優れた企劃の成果であらう。

◇…時代劇の取材範圍に新しい分野が要求されてゐることは、オリヂナリテイに富んだ映畫作家の要望と共に、今に始まつたことではないが、然しかういふ新しい分野に進むためには何よりも最初に企劃の動員が必要とされることであらう、戰國時代に着題したこの作品の新鮮味が、この作品の價値を決定するために重要な役割を果してゐることを特筆しやう。

◇…梶原金八のシナリオは巧緻なものである、そして瀧澤英輔の演出にも適度の豪快さが盛られ、集團の扱ひにも整備されたものを見せてゐるこれは「大閤記」あたりで既に試驗濟みである、然し内容的には「第一部」に關する限りかなり不滿とするところがある。

◇…「第一部」は權勢への追從のためには肉親をすら無き者にしやうとする榮達の徒に、厳然挑戰して起つ土岐太郎虎雄が甲斐六郎以下野武士の一團の首領となるところで終つてゐる、然しこれは一つの私憤のためであるやうに思はれる、開巻において太郎虎雄が弟に向つて「良民を苦しめるな」といつた意味の事を言つてゐるところから考へると、太郎虎雄が野に下つて權勢に挑む行動には、もつと意識的なものが裏打ちされてゐるのが妥當であらう、作意の方向がこれ丈けの顔觸れにおいて誤まられる恐れはないものと考へられるから、或ひはこの人達の老獪な惡戯であるのかも知れない、さう言へば方向を持たない野武士の集團を登場せしめて側面的な反抗に事寄せられてゐるのも合點されるところである。

◇…出演者は長十郎始め翫右衛門等皆な達者である、山田耕作の音樂も題材に適したもの、唐澤弘光のキヤメラは野外の部分がいゝ、スペクタクルと豪壯味内容は前篇に關する限り上述の如くであるが大衆小説的な興味は豐富。豐樂、新キネ上映中(N生)

ルックス社の吉原映畫 製作を續行

【パリ十三日發國通】ルックスフイルム會社製作中の映畫吉原に對する非難の聲が日本において高まりつゝあるとの報道はパリ映畫界において異常なセンセイションを捲き起してゐるが、ルックスフイルム會社では日本内務省側の抗議は當つてゐないとし依然その製作を續け近く市場に送り出すといつて居り、殊にルックス社で映畫化した吉原の筋は實は未發表であり日本ではしれてゐる筈がないとしてゐる

本筋が不可ない

—警保局當局談—

【東京國通】ルックスフイルム會社製作中の吉原につき内務省警保局映畫檢閲係立林事務官は語る

こちらとしては大使館からの報告とフランスの映畫評論雜誌記事を綜合して筋を推定したので勿論細部においては多少の違があるかもしれない、しかし問題は筋そのものよりも現代の日本が吉原や人力車によつて代表されてゐることにあるのだ

原千惠子孃 ピアノコンクールで第十五位

【ワルソー十三日發國通】第三回國際ショパンピアノコンクールは十二日夜盛會裡に終了したがこのコンクール第一の人氣者日本代表原千惠子孃はこの日も美しい振袖姿でステージに現はれショパンのピアノ協奏曲をオーケストラの伴奏で彈奏割れるやうな拍手を浴びた、終つて審査委員會が成績を發表し廿三才のソヴイエト代表ジアコブ・サツク氏が再び優勝、第二位もソヴイエトのロ・ザ・タマルキーナ孃十六才が獲得したが、原孃が第十五位と發表されるや原孃の優勝を期待してゐた聽衆は俄然これを不當とし抗議し場内は喧騒を極めたゝめ遂に警官隊が出動して漸く鎭壓せしめるといふ騒ぎを演じた聽衆中の一ポーランド人の如きは審査委員の不公平をならし臨席の聽衆となぐり合ひを演じ警官のため會場外に引づり出される等の出來事もあり聽衆は暫らくの間足踏みし口笛をならし大騒ぎした

『お龍妖艶記』愈よ製作着手

原作者、脚色者、監督、主演女優等と連日ロケハンを續けて來た新興大泉の久松靜兒監督の新作『お龍妖艶記』は『日の出』附錄所載三角寛氏原作陶山密脚色になる『東部暗黒街』『美人の犯罪』に次ぐ異色作品として非常に期待されてゐるが、愈よ伏見直江、川上朱美の顔合せで左記の如き配役で本讀みをすませ、行山光一のカメラでクランクを開始することゝなつた

キヤスト―(順不同)
一、春日吉壽(伏見直江)一、お龍(川上朱美)一、お雪(古川登美)一、高野(田城光)一、佐野(小島靜夫)一、虎藏(加藤精一)一、ヤチヤベラ(生方壯兒)一、大島(淺田健三)

▽▽踊る海賊△△ RKO作品、「虚榮の市」に次ぐパイオニヤ總天然色映畫で「クカラチヤ」のロイド・コリガンの監督作品である、主演者はチヤーリス・コリンヌとスチフイ・デューナの二人でエマ・リンゼイスクアイア作小説に基きファンシス・ファラゴーとレイ・ハリスの二人が脚色、ボストンで踊りの教師をしてゐる青年が海賊に誘拐されるが、或る港で脱走を試み市長に救助を求めたところ却つて海賊一味と間違へられて死刑を宣告される、處刑の日市長の娘は彼が踊りの教師である事を知つて一人で美事な踊りを演じて彼を救ふが、然し二人の前には第二の危難が待ち構へてゐた、キヤメラはウィリアム・スコール、色彩監督はロバート・E・ジョーンズの擔任、帝都キネマ十八日封切

サボテン

寛城子の夜、一本道を歩いて見た、多門食堂といふ看板がある、凸凹のある道、その片側にはやはりそれらしい構へをした家がある、一寸奥地にでも行つたやうな氣持になる

▲同地の住人に「これらの家にはどんなオンナのコがゐるのかね?」と訊いたところ、—それが相當なのがゐそうに思へて實は甚だ少く一軒に一人といふ狀態だ」との返事であつた、靜かなる寛城子!に違ひない

雜音

豐劇、帝キネ日曜日の入りは好調「豐劇の「戰國群盜傳」一が人氣を呼んでゐる▼昨報の「新しき土」獨逸版に添ふ强力三本立プロは、獨逸版の都合で實現不可能となつた、代りに獨逸版の方は直ぐ近く上映の運びとなるらしい、原節子さんが目の邊りにチラついてゐるのだから宣傳子の方では獨逸版を賣る好機逸せずと躍起である▼長春座、銀キネは寫眞替り、長春座の「ジヤンダーク」銀キネの「モダン騎士道」の再登場が異色

火曜 壬寅 大安 閉 室宿　舊二月四日　三月十六日

●一白の人 萬事徐ろに發展を謀るが安全短慮を戒しむ 丁と庚と辛が吉
●二黑の人 盛運にして諸事吉兆を呈す人の口に乘るな 甲と辛と寅が吉
●三碧の人 奇利を博せんとすれば過誤失策は免れ難し 丙と丁と寅が吉
●四綠の人 自力本願にて進むが吉人の力を當てにすな 甲と丙と寅が吉
●五黃の人 禮節を失はず溫和に交際を結べば引立あり 甲と庚と辛が吉
●六白の人 人の爲めに出鼻を挫かれ沈欝の氣分漂ふ日 甲と辛と癸が吉
●七赤の人 一轉更に一轉して逆轉に見舞はる守靜安全 庚と壬と癸が吉
●八白の人 實力を以て進み行へば難事を通達すべき日 甲と丙と辛が吉
●九紫の人 眼前の小利に焦らず遠大の計を樹つるが吉 丙と庚と寅が吉

日滿直通小口扱貨物 特定運賃實施へ
―綿糸布雜貨等大巾引下げ―

【奉天國通】日滿貿易促進を主眼とする日滿直通小口扱貨物特定運賃はすでに鐵道省、鮮鐵、總局の日鮮滿鐵道關係機關において基本案を確定、目下大阪商船、大連汽船、北日本、朝鮮郵船其他日滿連絡船關係者間で研究中であるが遲くも四月中には船會社間の協議を完了の上日鮮滿鐵道汽船會社を網羅する日鮮滿貨物運輸會議を開催、正式に決定し六月一日より實施の運びにいたるものとみられる、同特定運賃は日本內地よりの對滿輸出商品たる綿糸布、絹布、日用雜貨品を目標とするもので、日鮮滿貿易進展を期して小口扱貨物運賃の全面的大巾引下げを斷行するとゝもに年來の懸案となつてゐる大連、釜山、北鮮三港經由の日滿連絡三コースの運賃均等化をはかり、關釜大型快速連絡船の就航、鮮鐵貨物急行ならびに滿洲保稅輸送實施に伴ひ從來に比し著しくスピード・アツプされた朝鮮鐵道經由を基本として大連經由二割、北鮮經由三割程度の割安制を實施し日滿連絡三コースの均衡をはかることゝなつた

滿鮮運輸の統制委員會
廿日安東で開催

【奉天國通】滿鮮鐵道一如を目標とする滿鮮貨物運輸統制委員會第一回會合は來る廿日から安東で開催、鐵道總局より尾崎貨物課賃率主任、鮮鐵より大野副參事が出席滿鮮鐵道貨等級の統一案につき協議することゝなつた、なほ滿鮮運輸統制委員會は今後毎月一回定例的に開催運輸規定運賃その他鐵道一般業務統一に關する打合せをも行ふ事なつた

東北滿濕地開拓に共同調査開始
―滿鐵產業部と北滿經調で―

滿洲國實業部ではかねて我が廿ヶ年百萬戶移民計畫に呼應して移民の入植適地の調査を計畫してゐたが滿鐵產業部地質調査係並に同北滿經濟調査會に於ても最近共同委員會を結成してこれが調査を開始することゝなり前者は四月の解氷期を期し大調査隊を派遣して東滿及北滿松花江流域一帶に亙る濕地開拓の全體的計畫案を樹てるはずであり後者と同時に前記共同委員會の下に現地調査隊を組織し先づ虎林密山富錦同江方面の濕地百萬町步の開墾の調査を進める筈で將來は轍江及び大遼河方面の濕地帶にも及ぶ豫定を有して居り右調査の結果は非常に注目されるものである

在支日商議
聯合會第三日

【上海十三日發國通】在支日本商工會議所聯合會會議最終日たる第三日は午前十時より開會

一、日支間電報料金引下げ要望の件
一、商務官增員建議の件

等緊急動議にもとづき審議續行、いづれも滿場一致可決し吉田議長より三日間にわたり卅數件の議案を採擇直ちに實行に移す旨を約し、各代表の勞を謝した、これに對し堀江天津代表謝辭を述べ、午前十一時廿分こゝに劃期的な收穫を收め無事終了した、終つて一同は正午國際ホテルにおける支那財界要人の招待會に臨んだ

廣東日商議
近く設立總會

【廣東十三日發國通】廣東在留商工業者の共同利益擁護增進をはかるためその實現を待望されてゐた廣東日本商工會議所は、過般來中村總領事の斡旋のもとに設立準備中のところ會員四十四名の贊同を得たので近く創立總會開催の段取りとなつた、最近支那側の不當壓迫に南支商權の危機が叫ばれてゐるときとて同會議所の設立運用には多大の期待がかけられてゐる

電業齊市支店
全市送電開始

【齊々哈爾國通】電業齊々哈爾支店では昨年末爆破損傷した發電機補充として据置作業中の二千八百キロボイラーをこの程完成、去る十日運轉試驗の結果好成績をおさめたので十二日午後同支店で電力制限委員會を開き、來る廿日より從來の制限を撤廢、全市送電を行ふことゝなつた

同支店新築へ

【齊々哈爾國通】電業支店では過般の發電所爆破以來移轉を計畫し敷地物色中であつたが、この程齊々哈爾驛北方鐵道工廠西方の四萬五千平方米の敷地を選定目下本社と鐵路局との間に交渉を進めてゐるが、大體總工費百萬圓で五月末第一期工事に着手、明年末移轉完了の運びである

在奉天の外國銀行 積極的活動策す
金融狀態復舊に新陣容を整ふ

滿洲事變以來消極的營業を持續してゐた在奉天外國銀行も最近滿洲國內金融の狀態復舊と堅實化に鑑み全滿金融統制による興銀營業の進展に先手を打つて積極的活動を企圖しつゝある事は注目に値する即ち事變後特殊銀行としての發展力を失つて以來消極的營業方針の下に北支各省と滿洲國の爲替事務を獨占的に取扱つて來たが最近積極的活動を開始、北平、天津方面の大資本を吸收し既に貸付資金五十萬圓を準備し奉天市內の貿易業糧棧並に不動產投資をなしその進出は目覺しいものがありまた英國系の滙豐銀行も從來の外國爲替營業中心より滿人側商工者への各種貸付を積極的に行ひ事變前の全盛時代再現を目標に銀行內容を更新すべく新陣容を整へつゝあるがこれ等在奉英支銀行の滿洲積極進出計畫は在奉日滿銀行界に衝動を與へてゐる

新京取引所
先週取引週報

混保大豆　先物　出廻狀況不良のため埠頭在貨漸減を呈し、月初よりヂリ高歩調を辿りしところ週初八日は大連市場に於ける外邦商の一齊買出動を眺め、滿商側強氣配に拍車を加へたため、三月限六圓六十六錢、四月限六圓七十五錢と五錢方上放れて寄付いてより一路上伸、內地株式商品界の暴騰もあつて、九日には三月限六圓八十錢、四月限六圓八十四錢の高値を示現するに至つた、週央十日陸軍記念日に依る休會後は、利喰物と、氣溫上昇に依る產地側の賣急ぎ氣配に反落商狀に轉じ、十二日三月限六圓六十錢、四月限六圓六十八錢と引弛んだが、週末十三日引戾して三月限六圓七十三錢、四月限六圓七十八錢で越週した

本週總出來高　一、九六〇車
一日平均　[illegible]車
現物一等品　七車　高値三圓[illegible]　安値三圓[illegible]
二等品　三車　高値三圓[illegible]　安値三圓[illegible]
三等品　一車　三圓[illegible]錢

高粱　先物　週初八日三月限三圓九十九錢、四月限四圓六錢と立會ひ、大豆の品薄に睨り商狀を呈し、各限四圓台を維持したが、週央以後は手仕舞物に反落、十三日三月限三圓九十錢、四月限三圓九十六錢と不勢裡に越週した

本週總出來高　八一車
一日平均　一六車
現物　三車　高値[illegible]　安値[illegible]

滿鐵十一年度純益 豫算より減收
電業株賣出利得で補ひ得ん

【大連國通】滿鐵十一年度決算見込は鐵道局を除いてその他の部分は大體まとまつたがこれによると社線鐵道收入は豫算額より約六百萬圓の減收を示し、鑛業に於ては收入支出共に減少してゐるが、純益額においては增加し結局十一年度豫算における純益額は四千九百萬圓に對し實純益は四千三百萬圓と約六百萬圓の赤字となつてゐる、しかしこの六百萬圓は昨年賣出した電業株の解放によるプレミアム約六百萬圓でカバーされ、實際においては豫算通りの決濟をなし得る見込みである

對滿支貿易
三月中の概況

【東京國通】大藏省發表＝二月中對滿洲國、關東州、中華民國および香港貿易概況左の如し（單位千圓）

輸出	六二、六四一
輸入	四八、一三六
計	一一〇、七七七
出超	一四、五〇五

これを前年同期に比すれば輸出は二割五分一厘を、輸入は二割九分三厘を夫々增加したなほ一月以降の輸出超過額は一千百五十二萬六千圓で前年同期に比し六百七十萬一千圓の增加を示した

滿洲でも好望の養狐業の特質
五年に七萬圓以上の利益

（五）

養狐に適する地方と其場所＝養狐業は今から四十年前、北米加奈陀の一角に創始されたもので自然當初は北方寒國向きの仕事と見られてゐたが其生產毛皮の市場に於ける旺盛なる需要は此仕事を一角に閉塞するを許さぬ大勢をなし來つたのである、即ち先づ野獸と人との接觸がいよ〳〵親密となるに從ふて養殖上の研究は科學的に又實際的に日進月步すると共に事業又遠近に傳播勃興し今日に於いては加奈陀一圓、合衆國北部諸州一帶はもとより更に南進してワシントン州、コロラド州、カルフオルニア州等比較的暖國地方に迄も及ぼし來つたのである、更に近年英獨佛を始め歐洲各國へ種狐が移殖されるゝに見て殆んど世界的に傳播されつゝあるので今日では赤狐の棲息する地方なれば何處にても養殖の適地とされてゐるのである、畢竟養殖上の進步は氣候風土より生ずる自然的の影響を緩和し得るのである、本邦に於ては北海道、樺太が斯業の率先地であるが更に東北六縣北越地方、關東地方の一部は充分適地として可能性がある一方滿洲はどうかと云ふに昨年來試養の結果から見て恐らく加奈陀以上の好適地たることが判明した、而して狐は如何なる場所で飼ふのがよいかと云ふに之も最初は餘り喧騷ならざる林地にして乾燥地を可とし又石灰土壤を避けよとか種々の制限があつたか年と共に是等の制限は次第に撤廢され現今では唯みだりに人畜の入込まぬ而して清潔の場所であればよいといふことがわかつて來たので居宅の一隅の空地でも安全に養殖し得るのである

▽……△

今假りに滿洲で銀黑狐十配偶（牡十牝十計二十頭）をもつて養狐業を創めるとして五年後の收支は左の如きものとなる

初年度支出の部
▲一萬圓　優良銀黑狐二十頭仕入代金
▲五百五十圓　種狐送費
▲三百圓　種狐收容函代（二十個）
▲四百圓　關稅の概算
▲一千圓　狐舍二十頭分建設費
▲二百圓　外柵金網張建造費
▲一千二百圓　番舍木造二十坪（飼料調理場を含む）土地借地料金
▲六十[illegible]　秤二個並に飼料用具肉挽き器共買入費
▲五十[illegible]　飼料皿並に大工道具一切
▲九十圓　飼料費自十月至十二月（營養期給餌につき一頭一ヶ月一、五〇を見込む）
▲三百圓　主任者手當金三ヶ月分
▲三百圓　助手一名雜役夫一名二人分三ヶ月給料
▲一百圓　豫算外不時用意金として
計一萬四千五百五十圓　初年度總支出金
初年度は收入皆無なり

第二年度（着業滿一ヶ年目）支出部
▲三百圓　飼育費（親狐廿頭）
▲二百七十三圓　飼育費（增產仔狐）
▲三十圓　寄生虫驅除劑買入代金
▲一千二百圓　主任者手當金一ヶ年分
▲一千二百圓　助手雜夫二名分給料
▲百五十圓　預算外不時用意金
▲六百圓　仔狐育成舍二十頭分增築費
▲計三千七百五十二圓　二年度總支出金
收入の部
▲四千圓　種狐十頭賣却による收入
備考、[illegible]一頭五百、又は六百圓の價格をもつて賣却可能なるも右算出には之を四百圓也に見積る、北海道樺太の例に見るも着業後[illegible]と も十ヶ年は種狐として賣却可能の期間なり

第三年度（着業滿二年目）支出之部
▲六百圓　飼育費（親狐四十頭）
▲五百四十六圓（同上增產仔狐六十頭）
▲六十圓　寄生虫驅除劑買入費土地借料
▲一千圓　增產仔狐育成舍造築
▲一千二百圓　主任者手當金
▲一千二百圓　助手雜夫給料
▲百圓　臨時人夫雇入のための用意金
▲三百圓　豫算外不時入用金準備のため
▲合計五千六圓　三年度總支出金
備考、以上にて百頭分狐舍設備を完了す
三年度收入の部
▲八千圓　銀黑狐種狐として二十頭賣却代

第四年度（着業滿三ヶ年目）支出之部
▲一千二百圓　飼育費（親狐八十頭分）
▲一千九十二圓　同上（增產仔狐百二十頭分）借地料
▲一千二百圓　狐育成費（六十頭分）
▲一千二百圓　主任者手當
▲一千二百圓　助手雜夫給料
▲五百圓　雇人慰勞手當金並に臨時人夫（ランノ）
▲八十圓　寄生虫驅除劑買入代金
▲三百圓　豫算外不時準備金
▲合計六千七百七十二圓四年度總支出金
收入之部
▲二萬四千圓　種狐六十頭賣却による收入

第五年度（着業滿四年目）支出之部
▲二千百圓　飼育費親狐百四十頭分
▲一千六百三十八圓　同上、增產仔狐百八十頭）
▲三千六百圓　仔狐育成舍築造費
▲一千二百圓　主任者手當
▲一千二百圓　助手雜夫給料
▲五百圓　臨時雇入人夫賃
▲五百圓　豫算外不時入用準備金借地料
▲二百圓　寄生虫驅除劑費
▲一萬九百三十八圓　五年度總支出金
收入之部（五年度着業滿四年內）
▲六萬圓　種狐百頭賣却による收入量（三百替）
備考、大量なれば一頭三百圓として見込みたり、着業五年目の增產率を一偶に對する二、五として增產を見込みたり着業四年目迄は一偶に對する三、〇として增產を見込みたり

着業五年間（滿四年目）收支決算
收入之部
▲初年度收入なし
▲四千圓　二年度
▲八千圓　三年度
▲二萬四千圓　四年度
▲六萬圓　五年度
▲合計金九萬六千圓也
支出之部
▲一萬四千五百五十圓初年度
▲三千七百五十二圓二年度
▲五千六圓三年度
▲六千七百七十二圓四年度
▲一萬九百三十八圓五年度
▲合計金四萬一千二十一圓也
▲差引利益金五萬四千九百七十九圓也

着業滿四年にして右利益金の計上を見たる他に優に三百二十頭を收容し得る狐舍の設備の一切、殘存種狐百二十頭を利得し得る、殘存種狐は三百圓替として處分せば三萬六千圓となり之を假りに毛皮として百五十圓替に見積るも一萬八千餘圓を計上される（終）

土建ニュース

●滿鐵事務局
新京商業學校炊事場換氣裝置改造工事　三百八十圓　近藤嘉壽直　示談

●大連工事々務所
本社第二分館（一）東建物ペンキ塗替工事　特命　七百一十五圓　兒島四郎
本社第二分館（一）東建物壁ペンキ塗替工事　特命　八百二十七圓　象頭助市

●大連鐵道事務所
大連埠頭待合所和洋食堂の一部旅客係事務室に改築工事　特命　五百八十五圓　阿川組
滿洲曹達會社甘井子工場敷地埋立其他の工事　落札　一萬二千五百九十五圓十八錢　福昌公司

●電業公司
八里堡夜間配電線新設工事　落札　二百七十六圓〇六錢　滿洲電機
（二）[illegible]　滿勝電氣　（三）[illegible]　山上電氣
興安村屋間配電線新設工事　落札　三百九十二圓七十三錢　滿勝電機
（二）[illegible]　滿洲電氣　（三）[illegible]　山上醫機

●奉天市公署
奉天十緯路小學校修繕工事　落札　二百十四圓　公濟公司
（二）[illegible]　同興公司　（三）[illegible]　審陽公司

●昭和製鋼所
中央ポンプ所第一號及第二號ポンプサクションパイプ改築工事　特命　五百二十五圓四十二錢　坂本組

●大連鐵道事務所
煙臺採炭所輕油動車庫煖房裝置一部改築工事　特命　二百十八圓八十錢　田中勝商會
遼陽給水所軟化裝置第一水槽洗滌裝置新設工事　特命　二百三十四圓　三谷政一
中試沙河口研究所銑鐵並鎔接摔試驗工場機械据付に伴ふ電力配線新設工事　特命　百〇六圓五十錢　三興洋行
長山丸修繕工事　特命　七千百〇五圓二十五錢　大汽船渠部

●牡丹江鐵路局
牡丹江鐵路クラブを監理所に改築工事　落札　一千四百〇六圓八十錢　大林組

●昭和製鋼所
第三鑛工場二Mシツクナー用トロッコポンプ其他製作作業　特命　二百十六圓　長谷川治一郎
骸炭工場5HP電動機捲線及捲線部撤去工事　特命　三十二圓　共榮商會
製鋼部第二變電所諸機械据付工事　特命　五百二十八圓　長谷川治一郎
硫酸工場硫酸搭送管系並槽ノ樣製作組立工事　特命　千八百五十八圓　イリス商會
製鋼工場原爐試料用電氣爐据付下家鐵骨製作組立其他　特命　千九百二十九圓六十錢　高岡組

商況欄（三月十五日前場）

海外經濟電報

倫敦銀塊　二〇片一六分一
同　先物　二〇片八分五
紐育銀塊　休會
孟買爲替　五二留比一六分五
米英爲替　四弗八仙八分五
米日爲替　二八弗五三仙
米支爲替　二九弗八五仙
スチール株　一二二弗[illegible]
アナコンダ株　六七弗[illegible]
英日爲替　一志二片[illegible]
英支爲替　一志二片[illegible]
日印爲替　七七留比二分一

▲米棉
現物　一四仙五四
三月限　一四仙三八
五月限　一三仙九四
七月限　一三仙七六
十月限　一三仙二三
十二月限　一三仙一四
一月限　一三仙一五

▲印棉
ブローチ　二三九留比
オームラ　二二五留比
ベンゴール　一九〇留比

▲市俄古小麥
五月限　一弗三四仙八分一
七月限　一弗一七仙八分七
九月限　一弗一五仙八分七

▲カルカッタ麻袋
青筋　二三留比〇〇
鬮筋　二〇留比四分二

金銀市況
●上海標金　本寄　二三五六、五

爲替相場
▲上海爲替
▲日本向　第一回賣　一〇四、二五　買　一〇四、五〇
▲倫敦向　第一回賣　一志[illegible]　買　[illegible]
▲紐育向　第一回賣　二九弗[illegible]　買　[illegible]
▲大連爲替　▲上海向　一九〇、五〇
▲阪神日米爲替　第一回賣　二八弗一六分一
▲阪神日英爲替　第二回賣　一志二片三二分一

各地株式市況
▲東京株式（短期）寄付　大引　[illegible]
▲大阪株式（短期）寄付　大引　[illegible]
▲大連株式（短期）寄付　大引　[illegible]
▲奉天株式（短期）寄付　大引　[illegible]

各地商品市況
▲大阪棉糸　寄付　大引　[illegible]
▲大阪棉花　[illegible]

大阪人絹
[illegible]

新京取引所市況（三月十五日前場）
現物（一石値段）寄引　出來高
大豆　高粱　小豆　吉豆　米高粱　玉蜀黍　包米　[illegible]

各地特產市況
▲大連大豆　寄付　大引　[illegible]
●同　豆粕　[illegible]
●同　豆油　[illegible]

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓 郵税 一ケ月拾五錢
廣告料金 普通一行 壹圓五拾錢 特別一行 貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用（3）三二〇五 營業局專用（3）三二〇五
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越內之介

日獨協定を誹謗する前に ソ聯は先づ自省せよ
コミンテルンとソ聯が絶縁すれば各國との關係も明朗

駐英ソ聯大使マイスキー氏は「日獨防共協定は實際上ソヴイエトロシヤに對する軍事同盟だ」と佛ソ相互援助條約に強硬に反對せるに對する對抗的宣傳として故意に日獨防共協定を

誹謗 してゐるが、該協定はコミンテルンの世界攪亂行爲に對處せんが爲に結ばれた消極的協定で、コミンテルンを目標としたものではなく、また軍事同盟でもない事は世界の國際事情精通者間の一致承認してゐるところで、マイスキー大使の言は全く見當違ひの誹謗である 佐藤外相も說破せる如く日ソ關係の改善にはソ聯とコミンテルンとの絶縁が必要なのであつて、ソ聯が日常に公言してゐる如くソ聯政府とコミンテルンとが別個の存在であるとすればコミンテルンに對する日獨防共協定をソ聯が氣に病む必要は毛頭ないのである パリのタン紙は佐藤外相の言葉を引用し「ソ聯とコミンテルンとが絶縁すれば日ソ關係のみではなくソ聯と他の諸國との關係においても明朗である」といつてゐる警告についてソ聯の要路者は日獨協定を誹謗する前にまづ自省すべきである、他方また新ロカルノ體制案に對する獨伊兩國がそれぞれの回答において相互援助の觀念とは戰爭抛棄の觀念とは相容れないから新ロカルノ體制においては締約國間に相互援助條約の存在を許さず

作爲 適用せんとの魂膽から作爲された誹謗であるとすれば、それは協定の一方の締結者たる日本にとつてこの上ない迷惑千萬なことである

喜多少將昨日 蔣介石氏と會見
重要會談を行ふ

【南京十五日發國通】午前十一時喜多少將は大城戶南京駐在武官を帶同、中央軍官學校官邸に蔣介石氏を訪問、約一時間にわたり高宗武氏の通譯で重要會談をとげた、會見の內容に關しては支那側の都合上嚴秘に附されてゐるが、仄聞するに劈頭喜多武官は西安事件遭難の見舞を述べ新任の大城戶大佐を紹介したのち三中全會後における國民政府の對內外政策殊に對日政策の動向、國民黨、共產軍との妥協問題および北支の政情等に至り質問兩者間に相當突込んだ意見交換が行はれた模樣で蔣介石氏も何時になく元氣でかつ上機嫌であつたと、正午會見を終つてのち喜多少將は間もなく午後三時參謀長官邸に程潛氏と會見、會談時餘におよんだ、なほ同少將は十六日午前南京發飛行機で天津に向ひ田代軍司令官を訪問し、蔣介石氏との會見結果を齎らし協議をとげる筈である

望月老の肝入りで
岡田前首相を慰める酒宴
あの時もまるで忘れたやう

【東京國通】元首相岡田啓介大將を慰めるために當時の閣僚が集つて一夕の酒宴を開いた、春の寒さも冴えかへる十四日の宵、望月圭介老の肝入りで築地の料亭に人情の灯明るく設けられた酒宴である、あの雪の日から一年餘思ひ出の日も早や過ぎてこの宵、淀橋の寓居からヒヨツコリ現はれた岡田さんは昔ながらの溫顏も少し日にやけてゐる、（これは庭いぢりのため）酒宴は望月さんのおひいきの浪花節からやがてアチヨコチラに盃の入れかふ和やかさ庭の話に始まつて島の話に暮れた、宴果て夜十時

火の消えた葉卷きをくはへて玄關口に現れた商相の町田さん、釣鐘マントの鐵相內田さん、その後から岡田さんは微クンの頰に暖かな微笑、拓相兒玉さん、法相小原さん、內相後藤さん、農相山崎さん、陸相川島さん、それから三長官の金森、白根、大橋さん、それに一枚加はつて吉田さんいとも賑やかな顏觸れの中で肝入り役の望月老が「ウン愉快ぢやつたよ」と一言政治を忘れた談笑に暮れた一刻であつた（寫眞は上岡田前首相下望月老）

田中總裁就任初の 中銀大異動發表
第二段の活動期に入る前提

中銀では滿洲國五ケ年計畫による產業開發、廿數社に及ぶ特殊會社の活動、行政權移讓による間接的業務擴張等、國內金融情勢に順應して田中總裁就任以來着々と全般的整備を續けてゐるが、十五日左の如き課長級の大異動を發表愈よ田中總裁抱懷の新組織に向つて飛むことゝなつた、今次の人事異動は田中總裁就任以來の廣範圍に亘り創業以來五ケ年を經過した同行が第二段の活動期に入らんとするに際し適材適所主義に依つて行はれたもので相當注意を惹くものがある

命投資課長　阿部晋
命管理課長兼投資課長　大連支行經理　王德恩
命發行課長
爲替課編課長　川田正躬
命大連支行經理
投資課副課長　高田運次郎
命奉天分行副經理　三栄茂
命營口支行經理
秘書課副經理　石川洋爾
命安東支行經理
圖們支行經理　富田規矩治
命哈爾濱分行副經理
大連支行副經理　城慶次
命檢查課副課長
檢查課行員　山口正
命檢查課副課長
整行課行員　慶田稔
命整理課副課長
哈爾濱分行副經理　松本市之助
命庶務課副課長
庶務課行員　渡邊實
命圖們支行經理
管理課行員　王業明
命營口支行副經理

異動評 田中總裁は舊任勿々笠井秘書課長、岩尾國庫課長等日銀の中堅級を入れて新空氣の釀成に努めんとしたが、山成前副總裁の育成した行內の情勢は急速の人事異動を行ふに幾多困難を伴ひ、強行すれば內部動搖をも生ずる憂ひあり、其後は單に平行員の小移動に止め成行を靜觀し、遂々延期して今日に及んだものである 全滿百四十七行の各支店を統制する管理課長には現投資課長で日銀出身阿部氏を据へ日銀トレーンを强化した、爲替課副課長から大連支行支店長に榮轉した川田氏は正金出身で高田、三栄、石川三氏などと共に創業以來中心となつて活動した人で行內靑年行員に人望があつた、今回の異動は山成系の地方轉任の如くにも觀られるが、適材適所主義に合致してゐるし行內の空氣を刷新する點からも好評である

貴族院本會議

【東京國通】貴族院本會議は午前十時十五分振鈴、傍聽席は衆議院より送附された母子保護法案が上程されるためいつもながらの女學生、一般婦人傍聽席には勿論、婦人運動家山田わか女史その他數十名が押しかけ、男子傍聽席まで喰ひ込み立錐の餘地なき滿員の盛況、同廿二分近衛議長開會を宣し日程に入り
一、軍事救護法中改正法律案
一、救護法中改正法律案
一、母子保護法案
の三案を一括上程、河原田內相より提案趣旨の說明あり、質疑なく十五名の委員附託となる
一、糸價安定施設法案
一、糸價安定施設特別會計法案
の二案を一括上程、山崎農相より提案趣旨を說明質疑に入り、長野忠次君（研究）登壇蠶絲業の消長ならびに人絹と天然絹糸との比較について縷々述べたのち「政府は蠶絲統制をなす考へはないか」と質して降壇

山崎農相 蠶絲業の統制は自治的になすほかはないと思ふ、桑園および原蠶種の國家管理については關係團體と協議を進め愼重に考究したい

武井覺太郎君（同成）登壇 生產統制は本案によつて可能であるが、また可能ならば如何にして行はんとするか と簡單に農相の所見を質して降壇

山崎農相 生產統制は政府のみでなく自治的にやらねばならぬ、政府もこれに對し多少の助力を惜むものではない

大河內輝耕子（研究）自席より ニューヨークにある滯貨生糸は邦貨にして何程か

井野蠶絲局長より 九萬俵、八千一百萬圓である と答へれば

大河內子登壇 本特別會計の七千萬圓程度を以て豐作の續いた場合外國相手の糸價安定をはかることが出來るか

山崎農相 歲出生糸五十萬俵の二割程度を隨時買上げて大體暴落を防止するもので、過去の經驗によるもので、これで安定をはかり得ると信ずる

大河內子 將來萬一安定出來ぬ場合は何か考へるか

山崎農相 大體七千萬圓で不足なしと思ふ、將來の懸念は先づないと考へる

これにて質問を終り十五名の委員附託となる
一、一般會計歲出の財源に充つるため特別會計よりなす繰入金に關する法律案
一、對支文化事業特別會計法中改正法律案
ほか一案を一括上程、結城藏相より提案理由說明あり、質疑なく九名の委員附託となる
一、百貨店法案
一、辯理士法中改正法律案
を委員長報告通り可決、最後に請願十數件を委員長報告通り採擇に決し、議案全部を終了、午前十一時五十三分散會

支那經濟視察團 南京に入る
朝野の歡迎攻めに會ふ

【南京十五日發國通】對支經濟答禮使節の一行は十五日午前七時南京停車場に到着 國民政府より派遣された實業部長吳鼎昌氏、外交部次長陳介氏、亞洲司長高宗武氏等十數名に出迎へられ吳實業部長は兒玉團長に昨年の御禮を述べた後「蔣介石氏も皆さんに是非御目にかゝりたいと十四日歸京しました、十六日午後一行をティパーティに招待し、お話を伺ふ筈です」と語り、一行は首都ホテルに案內され、少憩の後九時半中山陵に詣でゝ孫文の墓に花環を供へ、續いて國民政府各機關に挨拶廻りをなし、正午から首都ホテルで開かれた川越大使の歡迎午餐會に臨んだ、午后は交通、鐵道兩部主催の茶會に出席し七時から實業部主催の歡迎晚餐會に出席する豫定で、第二日の十六日には正午王外交部長の招待後蔣介石氏の茶會、續いて南京市、銀行公會、市商合同の茶會、七時から孔祥熙氏の晚餐會に臨むこととなつた

北支に關稅 權行使建議
メーズ總稅務司

【上海十五日發國通】孔祥熙財政部長は去る十三日中國銀行において極秘裡に支那稅關メーズ總稅務司と會見、北支那における密輸の現狀につき詳細なる報告を聽取するところあつた、右は兒玉氏以下の支那經濟視察團より經濟提携の申出があつた場合その前提條件として先づ北支那の密輸中止方を提示する伏線的用意をなしたものと解されてゐたが、メーズ總稅務司は突如十五日わが經濟視察團の南京到着の日をねらひ密輸の根絶は冀東政府の解消にあり、速かに冀東の主權を回收して非武裝地域內における支那關稅權の行使方を南京政府へ建議する長文の建言書を發送した

全滿地方委員會 今明日奉天で開く
提出議案は四十件

滿鐵附屬地行政權移讓を控へ附屬地行政諮問機關として過去三十年の永き歷史を有する地方委員制はいよいよ解消せらるゝ事となつたが、その掉尾を飾るべき第十四回全滿地方委員聯合會は十六、七兩日午前十時より奉天滿鐵社員クラブにおいて小野、寺田正副議長始め沿線四十五委員、滿鐵より郡山理事、宮澤地方部長、關屋地方事務所長（奉天）始め關係者列席のもとに開催されるが、提出議案は「行政權移讓後に於る施政運用諮問機構設置に關する當局の考慮要望の件」の外四十件の多數に上つてゐるが、同議會において附屬地經營三十年、當局の努力に對し在留民の總意をもつて感謝決議をなし、關東局、滿鐵の功績を讃へることゝなつた

朝野有識者を網羅 民生振興會議
滿洲國の新方策期待さる

滿洲國では今般新しく「民生振興會議」と稱する機關を設置することとなり、十五日の第十二次國務院會議でこれに就ての官制が議決された、現に國內の治安が概ね確立され產業方面に於る劃期的發展がその緒に着いた際これと相並んで直接國民の福祉を增進し民生の振興に資すべき諸方策については衆智を蒐めてそのプランを樹てることを適當とする、これがためひろく朝野の有識者をもつて委員會を組織し民生の實態、民心の要望に即した適切有效なる方策を審議研究せしめんとするのがこの會議であつて、その成果は政府に於いて出來得る限り實現を圖らんとするものであり民衆の生活を改善し民力を培養するに努むるといふ國家的方針の遂行に資すべきものとして大いに期待されるところである

綏芬河機關員
ソ聯トーチカより射擊さる

關東軍發表＝十四日午後零時四十分頃東寧南方高安村附近を視察中なりし綏芬河日本機關員一行はチンカトン（漢字不明）南方約五十米の道路上においてソ聯の一〇一號トーチカより突如小銃の射擊を受けたり、該射擊は明かに不法射擊にしてわが乘用自動車を目標とせるものゝ如く射彈は自動車の前方約三米附近に着達せり、幸ひわが方損害なかりしも滿洲國當局よりは本事件に對し嚴重抗議の筈なり

國務院辭令

十五日附をもつて左の國務院辭令が發令された
蒙政部次長（興安學院長）　依田四郎
興安學院長を解く
兼補興安學院長　興安南省長　壽明阿
司法部理事官　楊孝則
兼司法部總務司秘書科長
秘書科長兼文書科長を命ず

閣議決定事項

十五日の第十二次國務院會議における議決事項左の如し
一、訴願手續法
行政救濟に關しては既に各個の法令の制定にあたつて考慮されてゐるが、今回訴願に關する一般的手續を定め各行政官廳の自律自戒、民權の尊重の一助とすることゝなつた
二、突泉縣名稱變更に關する件
三、民生振興會議規定に關する件
四、人事
民政部理事官　谷次亨
轉任安東省公署教育廳長敍簡任二等
實業部技佐　伊藤慶一
轉任臨時產業調查局技正敍簡任二等
臨時產業調查局技正　伊藤慶一
依願免官
文教部理事官（署禮教司長）　張聯文
任禮教司長敍簡任二等
因に今回安東省教育廳長に榮轉した谷次氏の略歷左の如し
大正十一年東京高師文科卒業、同十二年滿鐵地方部囑託、昭和二年奉天鹽務稅局長、同七年國務院總務廳人事處勤務、大同二年民政部事務官（外事科長）康德元年同理事官薦任三等、同三年敍薦任一等

海軍待命

【東京國通】海軍では十五日左の如く四中將、二少將および三大佐の待命を發令したが右六將官等はいづれも近く豫備役編入となる筈である
軍令部出仕　海軍中將　松下元
同　同　井上繼松
同　同　杉坂悌二郎
同　同　川原啓
同　海軍少將　田畑
海軍藥劑士　同　坂本佐太郎
海軍大佐　中村一
待命仰付けらる、各通
海軍大佐　塚越彥太郎
待命仰付けらる（但し橫須賀に滯在すべし）
海軍大佐　野村亮吉
待命仰付けらる（但し東京に滯在すべし）

新京、領警兩署 係主任決定

藤島新京署長は十五日午後四時より新舊警部を署長室に集め新任警部にそれぞれ係主任を命じ終つて第一回の事務打合をなした、新京、領警兩署各係主任左の通り
▲新京署
警務主任　木內警部（留任）
高等主任　中島警部（新任）
次席　反田警部（新任）
司法主任　飛田警部（留任）
保安主任　永田警部（新任）
執行兼警備主任　小島警部（新任）
衞生主任　原口警部（留任）
▲領警署
司法主任兼檢事事務取扱（現新京署執行兼警備主任）　西見警部
警備主任　木下警部（留任）
保安主任　高橋警部（留任）

反田警部 昨夜着任

下關檢閱事務所から警部に昇進して新京署高等次席に榮轉した反田昭警部は十五日午後十時着『はと』で着任した、氏は廣島の出身で卅三才の張りきつたところ、昭和二年九月第八十一期甲科修了昭和六年第二十一期高等科修了四平街署に勤務し七年二月巡查部長となつて開原に轉じ七年五月警部補に進み大石橋に榮轉九年四月安東署高等次席となり十年四月下關駐在檢閱事務に從事し今度の異動で昇進榮轉した氏は劍道初段の腕前大石橋署時代七年九月の合流匪六百餘名の大石橋附屬地襲擊事件に際し輕機關銃隊分隊長として敵の主力に對し奮戰敵を四散潰走せしめ附屬地の危機を救つたほか赫々たる功績あり旭八等に敍せられ年金下賜の榮譽を擔ふ勇者である

下田警部赴任

大連警察署に榮轉した下田警部は總領事館、新京署、領警署首都警察廳はじめ公私多數の見送りをうけて十五日午後九時五十分發列車で家族同伴赴任の途についた

牛島部隊死傷者

關東軍發表＝牛島部隊川名中尉以下〇〇名は京圖線實松甸南方十四キロの山中において匪賊團三を有し散兵壕を構築して頑強に抵抗する双勝匪約七十と十四日午後二時より日沒にいたるまで激戰を交へ敵二十を斃してこれを潰走せしめた、本戰鬪において
上等兵　荒井清作（出身地、北海道常呂郡野附牛町）
一等兵　佐藤千代雄（出身地、北海道常呂郡野附牛町）
一等兵　高橋隆一（出身地、北海道紋別郡遠輕町）
衞生上等兵　竹下誠一（出身地、紋別郡瀧上村）
は壯烈なる戰死を遂げ
一等兵　山崎健治
同　塚本友實
は名譽の負傷を受けた

故大穗縣參事官の餘榮

去る三月六日三江省饒河縣城東北方西林子において匪賊討伐中名譽の戰死を遂げた饒河縣參事官故大穗久雄氏（三十）に對し畏きあたりでは六日附をもつて勳五位に敍し景雲章を賜つた

朝鮮總督府富永學務局長來京

富永朝鮮總督府學務局長は滿洲國の地方制度視察のため淺野屬を帶同十六日午後六時廿分着列車で來京、十七、八兩日にわたり日滿官公署、市內等を視察の上十八日午後三時廿分發列車で離京歸任の豫定である

清水贊事着任

京都本派本願寺より新京本願寺に新任の贊事淸水諦之氏は十五日午後六時二十分着あじあで來京した

人事往來

▲廣崎幸雄氏（大倉土木）十五日來京中央ホテル
▲田中義太郎氏（田中組社長）同
▲小笠原論文氏（官吏）同
▲森泉嘉安氏（會社員）同
▲石黑政義氏（同）同
▲三谷義登氏（陶器商）同
▲硏申彥氏（淺野物產）同都ホテル
▲駒澤利雄氏（ホツプビール會社員）同

偶語

關東局管下警察官の定期異動により附屬地治安の重責に在る新京署▼猪苗代署長以下主任警部三名の異動を見た▼千軍萬馬の古つはもの猪苗代署長の後釜には▼少壯氣鋭の藤島宣法警視がどつかとおさまつた▼藤島警視は關東局管下警察官中稀に見る秀才で▼その明晰なる頭腦才氣煥發は國都の署長として蓋し最適任として我々は多大の期待をかけるものである▼法權撤廢を目睫に控へ最も杞憂するところはその直前に於ける人心の動搖撤廢後に於ける問題よりもである▼署長はよろしくその機微を捉へて全機能を活用し國都治安の府として傳統を誇る新京署の有終の美を飾つて貰ひたい▼奉天醫大病院に咲いた輸血が齎す日臺美談は▼聞く者をして襟を正さしむる五族協和の表徵である▼出よ第二の高岡巡官第三の高岡巡官

滿洲國日人縣技士見習募集要綱

一、縣技士見習は實業部に於て所定の見習を了へたる後縣技士として滿洲帝國政府に於て之を採用す
二、縣技士の任務　各縣公署に勤務し產業の調查及產業主として農業の開發指導に當る
三、見習期間　七ケ月
四、採用時期　康德四年五月上旬の豫定
五、募集期限　康德四年三月二十二日限
六、募集人員　約十名
七、應募資格
農道挺身の熱意ある日本內地人にして軍事教育を受け志操堅固、身體強健左の諸項の一に該當する在鄕者
1、日本の大學農學部、大學農學實科又は高等農林學校を卒業せる者
2、日本の甲種農學校を卒業し滿洲農業に關し相當の智識經驗ある年齡二十四才以上にして職歷（合議）四年半以上ある者
八、應募手續
應募者は康德四年三月二十二日迄に到着する如く左の書類を取揃へ新京實業部總務司宛送付すへし但し1、5、6、は銓衡當日之を持參することを得
1、最終學校長（現職者に在りては所屬長）の推薦狀
2、本人自筆の履歷書（雛形參照）及人物考查書
3、家族調書（雛形參照）
4、在滿醫師の身體檢查證（雛形參照）
5、最終學校に於ける學校成績表
6、最近撮影本人寫眞一葉
イ、寫眞は手札形半身脫帽のものにして裏面に本人自筆の姓名及生年月日を記入すへし
ロ、寫眞は履歷書の前半葉左上部に貼付すへし
九、銓衡方法
1、筆記試驗　2、口頭試問及人物考查　3、身體檢查
一〇、銓衡場　新京實業部
一一、銓衡日時
康德四年三月二十四日午前九時　身體檢查
同　年三月二十五日午前十時　筆記試驗並口頭試問及人物考查
但し都合に依り日時の變更又は銓衡場を變更することあるへし其の際は本人に通知し又は銓衡場に掲示す
一二、應募者は銓衡當日指定時間迄に銓衡場に出頭し係員の指示を受くへし
一三、合格者決定通知　全部の銓衡終了後合格者に付ては推薦者及本人に對し四月三十日迄に合格の通知を爲す
備考
1、提出書類は第八項記載の順序に取揃へ之を提出すへし
2、提出書類不備のものは銓衡せす
3、銓衡地迄の旅費其の他の經費は自辨とす
4、銓衡當日は晝食携行を便とす

新京實業部

（履歷書雛形）（用紙美濃罫紙）
履歷書
原籍
現住所
戶主何某何男　姓名　生年月日
一、學歷
一、職歷
一、兵役關係
一、其の他
一、信仰
二、運動
三、趣味
四、語學
五、特殊技能
右の通相違無之候也
年　月　日　何某　印

（家族調書雛形）（用紙美濃罫紙）
家族調書
一、通知を受くべき場所
原籍
現住所
戶主何某何男　姓名　生年月日
扶養の義務ある家族
本人との續柄　戶主との續柄　姓名　生年月日
其の他の家族
本人との續柄　戶主との續柄　姓名　生年月日
右の通相違無之候也
年　月　日　何某

（身體檢查證雛形）
身體檢查成績

整理番號	學校名	身長	體重	胸圍	聽能	聽器	咽喉	視力	摘要
判定								右 左	
銓衡地	氏名 出生 年月日生	米 齡器	言語 精神	米 背柱	關節 運動	胸部	傳染性疾患 特に花柳病	其ノ他各部	

康德　年　月　日　檢查醫官

社説

經濟視察團の渡支
支那の新事態認識へ

一

上海に於いて中日貿易協會の總會が開催されるのを機會に、兒玉謙次氏を團長とし財界有力者を網羅した日本の訪支經濟視察團は既に支那に渡つた。この中日貿易協會は、日華貿易協會とも稱され、一昨年夏吳鼎昌氏を團長とする支那の視察團が日本を訪ふた結果成立したものである。そして日本からも答禮を兼ねて經濟視察團を派遣することとなつてゐた。すでに昨年春、上海に於いてその總會が開かれたのであつたが、當時は日支兩國の事情によつて視察團の派遣を見るに至らなかつた。支那に於いてはその後極度に排日機運が濃化し、各地にテロ事件の續發となつて、日支國交の險惡化となつたことは周知の如くである。

二

今次の視察團が貿易協會總會への出席を名目とし、支那側の訪日經濟視察團に對しての答禮的な意味を持つものであることは明白である。したがつてそのなすところも兩國經濟人の交驩と、一般的經濟情勢の視察を主眼とするものであらう。しかしこの機會にある日支兩國の外交局面に對して何等かの打開の端緒を作ることが望ましいこととされてゐるのは事實である。支那側に於いても、日本側から提携の具體的プランを提示される場合にこれに對應する用意は出來てゐると言はれてゐる。支那新聞は、具體的準備は有しないとしてゐるが、しかも日支關係を良好にするために日本側がなすべきところとしてその希望する條項を擧げてゐるのである。支那側に於いても適當な打開を希望する空氣があることが知られる。

三

現在の情勢を見るとき、以上のやうな經濟的部門からする兩國關係の打開が望まれてゐることも明白ではあるが、この事が容易に出來るか否かはなはだ疑はしい。その前途に著しい困難が橫たはつてゐると思はれるのである。それには近年の支那に於けるナショナリズムの昂揚といふ事實がある。一方、國民政府が昨年秋斷行したところの幣制改革は良好な成績を示し、國民の生活は紙幣によつて堅く中央政治に緊縛されるに至つてゐる。かくて外に對して國家の面目を維持せんとする欲求が今日極めて熾烈となつてゐる。このやうな新しい事態を認識して支那に對することが肝要である。表面的な逆襲のみでは支那民衆の支持を受け得ないやうなものであつては効果を擧げ得ない。先づ期待されるのは、この新事態についての正しい認識が視察團の收穫となることであらう。それだけの收穫でも充分の意義を持つ

史で日滿（六）
關東軍參謀部

切り結ぶ太刀の下こそ地獄なれ
身を捨てゝこそ浮ぶ瀨もあれ

之が當時の日本上下の眞精神であつた。

尙本戰役について特記したいのは國民擧國一致の狀況である。

有事に臨み、義勇奉公の精神勃然として發し、全國民結束し恰も一體の如くなつて君國の爲に盡すのは萬邦無比の國體に基く日本國民性の特質である。

かくて出でゝ攻戰に從事するものが、一身を君國に捧げ剛勇無比であつたことは普く人の知る所であるが、一般人民が誠意誠心よく之を後援し出征軍人をして毫も後顧の患なからしめた事實も亦世界稀に觀る所である。

左にその事實の一部を摘記して見やう。

日本國民の忠勇義憤の精神が如何に旺盛であつたかといふことは、在鄕軍人の召集や壯丁の徵集に當つてはつきりと現はれた。

即ち召集令狀を受けた者は何れも欣喜勇躍して軍隊に馳せ加はつた。而して此等の中には或は傷をかくし病を冒して應召し、或は父母妻子等の貧苦と病とにも拘らず決然袂別して入營し、或は海外移住者にして開戰ときくや直に歸朝して召集を出願し、或は逃亡中の兵にして自首の上從軍を願ひ、或は徵兵を忌避して行先不明となれる壯丁をその老母が自ら搜し出して訓誨の上軍に就かせる等無數の美談があつた。

志願兵の增加は殊に著しく中には一家に於て三兄が戰死したのでその末弟が服役を志願したものもあつた。

又應召者の家族の人々は從軍者を出すのを家門の大なるほまれとし、恩愛別離の私情を雄々しくも打ち捨てゝひたすら義勇奉公の道を訓へかつ勵ました。

近隣の人々は應召者に對し極めて深厚な同情をよせ、粗宴に送別にあらゆる手段を盡してその行を壯にし、中には一車夫であつて應召者を百數十回も無料で乘車せしめたものさへあつた。

軍隊輸送が開始されると沿線の人々は心を盡して之を犒ひ、白髮の老人、可憐の乙女さては幼童に至るまでその送迎に熱中し、或は湯茶を供し物品を贈り、或は音樂、唱歌、煙火等を以て盛觀を添へ、寒暑風雨に拘らず歡呼の聲は遠近にひゞきわたつた。

軍隊の宿營する地方では、土地、家屋を徵用され就中大都會や、乘船地の市街等では或は徵用の命令が往々突然に下り、或は軍隊の滯留數日に亘る等、住民に多大の迷惑を掛けたにも拘らず住民達は却つて之を喜び且光榮とし心を傾けて厚遇し、たゞその及ばざるを懼れるといふ有樣で、而も久しきに亘り毫も倦厭の色がなかつた。

出征中の軍人に對しては、慰問、贈遺等至らざるなくこの目的のために設けられた各地無數の團體や有志者等は絶えず信書を送つて出征軍人の勇氣を鼓舞し、或は留守中の無筆の妻に文字を敎へて自筆の信書を出させ、或は新聞、雜誌、書籍等を送る等慰藉至れり盡せりといふ有樣であつた。陸軍に金品を寄附した者は極めて多く、全額百七十餘萬圓（此他外國人の我軍に同情したる恤兵金額十七萬餘圓あり）に上り尙軍隊の宿營地、停車場、休息所等その他で團體又は個人が從軍者に寄贈した金品は實に莫大なものであつた。慰問袋も盛に贈られたがその中には日用品、娯樂品、武運長久の神符等何れも眞心を込めた品が收められて極めて興味深く、殊にそれらは槪ね婦女子や小兒等の手にて作られたものであるから、戰地の軍人を感激せしめ大にその勇氣を鼓舞した。

傷病軍人に對する同情に至つては更に懇切を極めた。例へば內地還送の途上にあつては船車、乘降の扶助、繃帶の交換等から身邊の細事に至る迄痒い所に手の屆くやうに面倒を見てやり、又屢々病院や轉地療養所等を訪ねて懇に慰問し娛樂品を贈り、中には慰藉の爲の建築物を寄附するものさへあつた。

戰病死者に對しては、各地何れもその忠勇の表彰に努め葬祭は槪ね市町村費を以て行はれ、儀式は極めて莊嚴であり、且その遺烈を不朽に傳へんが爲功績を刻んで建碑し、或は諸種の記念事業を起し、或は傳記を編纂するものも亦少くなかつた。

出征軍人の家族に對する同情も亦極めて深厚で、訪問、慰藉、保護等至らざる所なき有樣であつた。本戰役に於ては數十萬の壯丁が出でゝ軍に從ふたのであるからその家族の老幼、婦女子等で生計に困るものが漸次多くなつたのは止むを得ぬ所であつた、そこで政府は下士家族救助令を發布して之が救濟を圖つたが、その鄕黨はもとより各種の團體も進んで之が救濟に努め、或は金品を贈り醫藥を供し或は勞力を以て耕作を助け或は業を授けて自營の道をあたへ中には一介の勞働者で自分の常業を從軍者の家族に讓るものさへあつた。

出征軍人の家族は家族で子弟の名譽を思ひ公私の救助を受けることを好まず、極力家業を勵み手慣れぬ勤勞にいそしんだ。かくて全戰役間留守家族救護の爲に費した公費は全國を通じて一百萬圓に上らず、一人の被救護者をも出さなかつた府縣も數個あつた。

戰死者の遺族は盡忠報國の士を出したのを以て一家一門の光榮とし、一家數人の子弟を喪ふてさへ毫も憂色を示さず、その義烈は往訪弔慰の人をして襟を沾さしめた。

凡そかくの如き美しき擧國一致は擴皇室の國家、綜合家族制の國家といふ日本帝國の本質から發現するものであつて、獨り日露戰爭の場合にのみ現れた現象ではない。日淸戰爭に於ても、今次の滿洲事變に於ても、或は其他の小戰役に於ても皆さうであつた。たゞ日露戰爭は日本にとつて最も大なる國難であつたがために、擧國一致の狀態が特に著しく現はれただけである。

平素は政治に經濟に或はその他に就て國民が互に對立抗爭してゐても、君國の大事に臨んでは忽ち己を捨て一致結束して起つ、之が日本帝國の特質であり、この特質を無視しては日本の實力を評價することは出來ないのである。

8　日露戰爭の世界史的意義

日露戰爭に於ける日本の絶體的大勝に就ては列國はいたく驚歎し、世界の動きは之より著しくその方向を變へた。

即ち、これまで有色人種を劣等視し、この世はたゞ白人生存の爲にのみ造られ、有色人種は白人生活の便宜の爲に存在するものと考へて橫暴の限りをつくした白人は、有色人種に對する彼等の劣視觀念を改めざるを得ざるに至つた

之と同時に有色人種自體もまた從來白人には對抗出來ぬもの、彼等には屈服すべきものと諦めてゐたことから詭然として目醒めた。

「日本の如く醒め、日本の如く努力し日本の如く強くなれ」と言ふ聲が期せずして有色人種の國々に絶叫されるやうになり、國民主義運動、國民覺醒運動、政治運動、國民主義運動乃至白人に對する反抗運動等が到る所に捲き起された。印度に於ても、支那に於ても、將又アフガニスタン、ペルシヤ、エヂプト、トルコ、モロツコ等に於ても比々皆然りであつた。

之と同時に產業革命以來競ふて有色人種の國土を侵略しつゝあつた歐米列強は、少くとも極東に於ては日本を度外視してその侵略の魔手を延ばす譯には行かなくなつた。白人侵略の前に將に風前の燈火にも等しかつた支那と朝鮮とはこの戰爭によつて完全に救はれた。若しこの戰爭に日本が勝たなかつたとしたら今頃は極東も悉く歐米列強の殖民地となり、東洋の國々はかのアフリカの如く永遠に救はれなかつたであらう。

蘭領チモール島のキハタン鳥を獻上
紐育の若き科學者兄弟が

【マニラ十四日發國通】ニユーヨークの若き科學者ハンストツタ兄弟は米國自然科學博物館の委囑で二年來南洋諸島で熱帶の鳥蟲魚類を採集して來たが、聖上陛下が自然科學に御造詣深いことを聞き今回蘭領印度チモール島產の美事なキハタン鳥を獻上申上げたき旨宮內省へ願出てゐた處、この程御嘉納あられる旨マニラ帝國駐在總領事館を通じて通達があつた、ラ兄弟は十日マニラに到着したが、この報に接し十五日マニラ出帆の大阪商船メキシコ丸で東京に向け發送する事となつた

滿洲國刑事訴訟法（九）

第十一章　檢證

第百五十七條　法院は檢證を爲すことを得

第百五十八條　檢證に付ては身體の檢査、屍體の解剖、墳墓の發掘、物の毀壞其の他必要なる處分を爲すことを得

被告人に非ざる者の身體の檢査は一定の證跡の存否を確認するに必要なる場合に限り之を爲すことを得

婦女の身體を檢査する場合に於ては醫師又は成年婦女をして之に立會はしむべし

屍體を解剖し又は墳墓を發掘する場合に於ては禮意を失はざることに注意し遺族あるときは豫め之に通知すべし

第百五十九條　檢察官、被告人又は辯護人は檢證に立會ふことを得但し拘禁せられたる被告人は此の限に在らず

檢證を爲すに付必要あるときは被告人をして之に立會はしむることを得

檢證を爲すべき日時及場所は豫め之を檢證に立會ふことを得べき者に通知すべし但し急速を要するときは此の限に在らず

第百六十條　檢證に付ては第百三十六條、第百三十七條、第百四十一條、第百四十二條第一項、第百四十三條、第百四十五條及第百四十七條の規定を準用す

第百六十一條　檢察廳は公訴提起前に限り檢證を爲すことを得

前項の場合に付ては第百三十六條、第百三十七條、第百四十二條第一項、第百四十三條、第百四十五條、第百五十八條及第百五十九條の規定を準用す

第百六十二條　檢察廳は檢證を他の檢察廳又は司法警察官に囑託し又は命令することを得

第百六十二條　司法警察官は第百五十三條第一項及第二項の場合に於て事件送致前に限り檢證を爲し又は之を他の司法警察官に囑託することを得

第百六十三條　變死體あるときは其の所在地を管轄する地方檢察廳又は區檢察廳檢察官は檢視を爲すべし

檢察廳は司法警察官をして檢視を爲さしむることを得

前二項の場合に於ては醫師をして立會はしめ其の意見を徵することを得

司法警察官檢視を爲すに因り犯罪あることを發見したるときは引續き檢證を爲すことを得

第百六十四條　司法警察官の爲す檢證に付ては第百三十六條、第百三十七條、第百四十二條第二項、第百四十三條、第百四十五條、第百五十八條及第百五十九條の規定を準用す

第十二章　證人訊問

第百六十五條　法院は別段の規定ある場合を除くの外何人と雖も證人として之を訊問することを得

第百六十六條　證人の召喚に付ては第八十二條及第八十六條の規定を準用す

第百六十七條　召喚を受けたる證人正當の事由なくして出頭せざるときは檢察廳の意見を聽き裁定を以て三百圓以下の過料に處し且不出頭に因り生じたる費用の賠償を命ずることを得

前項の裁定に對しては即時抗告を爲すことを得

第百六十八條　證人正當の事由なくして出頭せざるときは之を拘引することを得

證人の拘引に付ては第八十七條乃至第九十二條、第九十條及第九十五條の規定を準用す

第百六十九條　召喚狀又は拘引狀には證人の氏名、性別及住居、被告事件を記載し審判長之に記名捺印すべし

召喚狀には出頭すべき年月日時場所及正當の事由なくして出頭せざるときは三百圓以下の過料に處し不出頭に因り生じたる費用の賠償を命じ且拘引狀を發することあるべき旨並に其の請求に因り旅費、日當及止宿料を支給せらるべき旨を記載すべし

第百七十條　拘引狀には引致すべき場所を記載すべし

第百七十條　公務員又は公務員たりし者の知得たる事項に付本人又は當該公務所より職務上の祕密に關するものなる旨の陳述ありたるときは當該監督官署の承諾あるに非ざれば證人として訊問することを得ず但し當該監督官署は帝國の重大なる利益を害する場合を除くの外承諾を拒むことを得ず

國務總理大臣、宮內府大臣、尙書府大臣、參議、監察院長、將軍又は此等の職に在りたる者前項の陳述を爲したるときは勅許を得るに非ざれば證人として之を訊問することを得ず、軍政部大臣又は其職に在りたる者其の知得たる軍の統率に關する事項に付前項の陳述を爲したるとき亦同じ

第百七十一條　左の各號の一に該當する者は證言を拒絶することを得

一　被告人の配偶者、四親等內の血族又は三親等內の姻族

二　被告人の法定代理人又は被告人を法定代理人と爲す者

共同被告人の一人又は數人に對し前項の關係ある者と雖も他の共同被告人のみに關する事項に付ては證言を拒絶することを得ず

第百七十二條　證言を拒絶する者は其事由を疏明すべし

證言を拒絶することの事由を疏明すること能はざるときは裁定を以て其の申立を却下すべし

第百七十三條　證人に對しては先づ其の人違なきことを確むるに足る事項及第百七十一條第一項に該當する者なりや否を取調ぶべし

第百七十一條第一項に該當する者には證言を拒絶することを得る旨を告知すべし

第百七十四條　證人に對しては宣誓を爲さしめたる上訊問を爲すべし但し、宣誓を爲さしむべき者なりや否に付疑あるときは訊問後之を爲さしむることを得

第百七十五條　證人左の各號の一に該當するときは宣誓を爲さしめずして之を訊問すべし

一　十六歳未滿の者

二　宣誓の意義を解すること能はざる者

三　證言を爲すに因り自己又は自己と第百七十一條第一項に規定する關係ある者刑事訴追を受くる虞あるとき

四　現に供述を爲すべき事件の被告人と共犯の關係ある者又は其の嫌疑ある者

五　第百七十一條第一項に規定する關係ある者にして證言を拒まざる者

六　被告人の雇人又は同居人

前項第四號の規定の適用に付ては藏匿の罪、僞證及證憑湮滅の罪及臟物に關する罪の犯人は其の本犯の共犯と看做す、前二項に規定する者宣誓を爲したるときと雖も其の供述は證言たるの效力を妨げらるることなし

第百七十六條　證人若は之と第百七十一條第一項に規定する關係ある者の不名譽に歸し又は其の財產上に重大なる損害を生ずる虞あるときは宣誓を爲さしめずして之を訊問することを得

十間房に觀音堂設立
半島人の宗教的教化へ

【奉天國通】協和會市本部では在奉半島人の大部分が無宗教狀態にあるを遺憾とし、在奉半島人有力者及び特務機關、憲兵隊、總領事館、地方事務所その他各機關の援助の下に約一萬五千圓の資金で十間房に觀音堂を設立、在奉半島人の宗教による精神的教化を行ふこととなつた

商況欄（三月十五日）後場

●上海標金　一二三、二
●上海爲替　前引

	賣	買
日本向　第一回	一〇四、九十五	一〇五、一二五
倫敦向　第一回	一志二片一六分五	八分二
紐育向　第一回	二九弗一六分三	八分七

株式相場

▲大連株式（短期）

銘柄	寄	引
五品	一六、五〇	—
豆新	三三、九〇	—
東新	一四〇、〇〇	—
滿鐵新	六一、〇〇	—
同新	四八、七〇	—
日產	八九、四〇	—
鐘新	二五五、〇〇	—

奉天株式（短期）

銘柄	寄	引
滿取	[illegible]	—
東新	[illegible]	—
日產	[illegible]	—
鐘新	[illegible]	—
五品	[illegible]	—
豆新	三三、八〇	—
滿鐵新	—	—
同新	[illegible]	—
電甲	[illegible]	—
滿毛	[illegible]	—
日魯	[illegible]	—

新京取引市況

現物（一石値段）（三月十五日後場）

品名	寄	引	出來高
大豆	—	—	
高粱	—	—	
米粱	—	—	
小豆	—	—	
玉蜀黍	—	—	
三月限	六、六二	六、六〇	一二車

高粱			
四月限	六、六二	六、六〇	一二車
三月限	—	—	—
四月限	二、九五	—	一車

手形交換高（十五日）

三七九枚　七七三、六三三、七九

鮮魚小賣相場

百匁に付（十五日）

品名	最高	最低
活鯛	一一五	一一
氷鯛	五八	二四
中小鯛	五八	四八
チコ鯛	四二	…
チヌ鯛	四三	四二
アマ鯛	五四	二四
エビ	…	…
中エビ	七二	…
[illegible]	三六	…
ヒラス	…	…
[illegible]	三六	…
サワラ	…	…
ニベ	二二	[illegible]
鰆	二五	[illegible]
赤バル	二〇	[illegible]
[illegible]	二四	[illegible]
アブラメ	…	…
鰯	…	…
水蛸	一六	一一
飯蛸	…	…
紋甲イカ	…	…
小イカ	二六	一七
シラメ	一五	…
カレイ	二二	一八
星カレイ	一二	一一
目高カレイ	一一	一〇
カナガシラ	…	…
鰯	…	…
コノシロ	一八	…
オコゼ	三五	八五
キス	二三	一二
アナゴ	…	…
ハモ	六	五
タラ	…	…
白魚	七〇	四〇
鮑	四五	三〇
カキ	一八	一一
帆立貝身	一七	一二
赤貝	…	…
蜆	…	…
蛤	一二	八
オバ	…	…
ムキミ貝	…	…
黒生子	五〇	二〇
赤子	二二	一八
カニ	五五	一〇
カマボコ	…	…
梶木（切り身）	一一〇〇	四〇
ブリ	八〇	六〇
ヒラス	…	…
ニベ	五〇	四〇
ヒラメ	五五	三五
赤エイ	一六	…

けふの天氣　北西の風晴
日の出　前六時五一分
日の入　後六時四四分
月の出　前八時十八分
月の入　後七時十七分
きのふの氣溫　最高零下四度八　最低零下十度八

空中國防の趨勢

陸軍省新聞班（4）

一、航空兵力の任務區分と兵力配當率

航空部隊の任務が、空中作戰と國土防空とを基調とする獨立作戰遂行と陸海軍作戰に對する協力に歸納されてゐるので、航空部隊の區分も亦此任務達成を容易ならしむる如く定められてゐる。

獨立空軍―攻勢（空襲）、守勢（防空）兩作戰を獨立して遂行する兵力を統合したもので、分科的に觀れば爆撃飛行隊を主力として、有力なる驅逐飛行隊と、一部の遠距離偵察飛行隊（爆撃兼用）とから成つてゐることは列强悉く同一である。英國は右の兵力を以て、獨立空軍部隊、佛國は防禦飛行隊、獨國は獨立空軍部隊と稱してゐるが、蘇聯邦は之を有するが如きも明瞭でない、米國陸軍航空の主體である總司令部飛行隊も亦此の一種である。

陸軍協同―陸軍作戰に直接協力するを任務とするもので偵察飛行隊（佛國、米國にては氣球隊をも含む）から成つてゐる。英國、佛國では之を陸軍協同部隊、蘇聯では軍團配屬又は軍隊飛行隊、伊國では陸軍配屬部隊（軍令のみ陸軍に屬す）、米軍では軍團管區配屬飛行隊と稱してゐる。

海軍協同―海軍作戰に直接協同するを任務とするもので、沿岸飛行部隊、艦載飛行隊から成り、其主力は偵察、爆撃兼用の攻撃機である。英國は此兩者を海軍協同部隊、佛國は前者のみを海軍協同部隊、後者を海軍に配屬（軍の一部は空軍に屬す）し、伊國は海軍配屬部隊（軍令のみ海軍に屬す）と稱してゐる。

海外空軍―海外領土の防衛に任ずるもので、軍令、軍政共に本國所管者の區處を受けてゐる。偵察、爆撃兼用の偵察飛行隊を主力としてゐることは列强概ね同一である。

列强中獨立空軍を有するものゝ兵力配當分率を擧ぐれば概ね左表の如く、列强空軍の主力は獨立空軍であり、陸、海軍協同は各々國防方針に從ひ何れかを重視してゐる。

區分／國別	英國	佛國	伊國	米國
獨立空軍	七三	四八	六四	四五
陸軍協同	五	三五	二三	六
海軍協同	二二	二七	一三	四九

空軍管區と部隊の編制

列强は陸、海と同樣に空軍管區を有してゐる。佛國は本國を四管區、北アフリカを一管區とし、伊國は四管區、獨國は六管區とし、各國共に其陸軍管區との連絡ある樣に區分してゐる、英國は倫敦を中心として、戰鬪、爆撃、沿岸、教育の任務區分に分ち、米國總司令部直轄飛行隊は本國を三個の聯隊に區分してゐるが蘇聯邦は空軍の爲管區を特設してはゐない。

右の如く管區を設けてゐる主なる理由は、空軍の地上部隊を空港（飛行基地）に固定し空中部隊の機動性を極度に發揮せしむる爲、空港の指揮、管理を分擔するに存するのである

航空部隊の編制は、空中部隊と地上部隊とに大別されてゐる。空中部隊は第一線飛行機と空中勤務者とを主體としてゐるもので戰隊（佛、伊、獨）聯隊（米）旅團（蘇）（二―三大隊）―大隊（二―三中隊）―中隊（米は三―五中）の體系を取り、尚佛、伊兩國では最近其獨立空軍を爆撃、驅逐の分科毎に横斷的に大部隊結成を爲してゐる。即ち集團（二―三師團）―師團（二―三旅團）―旅團（二―三戰隊）の體系を取つて居り此趨勢は漸次他の列强に及ばんとしてゐる樣である。斯の如き趨勢は歐洲大戰當時空中の「アス」として勇名を轟かした「リヒトホーヘン」「インメルマン」「フォンク」の如き一騎當千の勇士が活躍した一騎打の空中戰は將來編隊以上の部隊の戰鬪に代り空中に於ける集團に運用が眞劍に考究せられある事實を裏書するものである。

空軍地上部隊は列强に依り其名稱を異にするが、大體に於て飛行場の管理、警備、連絡に任ずる飛行場部隊と空中部隊要員の教育養成、器材の整備補給に任ずる部隊とから成つてゐる。換言すれば海軍に於ける艦隊と軍港との關係組織を空軍に適用したものと觀るべきである。

以上の樣な編制の體系は其源を伊國に發し、蘇、佛、獨各國は其亞流を汲み、最近米國陸軍航空も同一主義に改編中である。

航空要員の養成 器材の補給政策

航空部隊の質は、人的要素と器材的要素との合體したものである。人的要素は主として空中勤務者たる將校、下士官であつて、此等優秀なる多數の空中勤務者を保有する事は、其補充困難なる特性に鑑み、極めて重要なる要件である。器材的要素は軍用機であつて、其性能の優劣が其質を左右すること、恰も海軍に於ける艦艇と全く同一である。故に器材的要素劣らんか、如何に戰技に優秀であつても、其力を振ふに餘地なく、恰も駑馬に鞭打つて駿馬を追はんとするの類と同じである。

加ふるに、航空兵力と人員器材の消耗が迅速多量であつて、而も之が補充困難なるの特性を有する。

歐洲大戰間、空中戰士の消耗率は、毎月一六―二五%であつて、第一線戰士は、四―五箇月間で全滅する割合であつた。而も是等の戰士の養成には平時少くも三年以上を必要とするし、又戰時急速に基礎教育六箇月後直に補充するとしても、此間の補充要員は、第一線戰士と同數以上を常時から保有して居らなければ、戰力は急速に遞減するのである。又空軍の主要器材たる飛行機の消耗率に就いて觀察すれば、歐洲大戰末期の統計に依れば、毎月英國は四八%、佛國は四二%、獨國は三八%で、平均四〇八%になつてゐるから、第一飛行機は、約一箇月半で全滅する。從つて飛行機製造能力は、少くも毎月第一線機の半數及教育用飛行機の一〇%以上を製造し得なければならぬ。又第二線機として、第一線機の約半數を常備しておく必要を生ずる。（寫眞は某飛行場に集合中の佛國爆撃機）

滿洲金融機關の休日改善對策

圖們商議所が要望

【圖們國通】滿洲中央銀行はじめ滿洲國側銀行ならびに金融機關の休業日の多いのは一般商人間に不便甚しく殊に舊正に際し六日間の連續休業は商人の蒙むる打撃甚大でこれが改善對策が各地に叫ばれてゐるが、圖們地方の商人、特に木材業者は舊正前後が一年中の最も繁忙期間に相當するので非常な不利不便を蒙つてゐる、よつて當地商工會議所では吉林の商工會議所と提携し本月下旬新京に開かれる滿洲國會議所法檢討の全滿商議理事會の決議としてこれを聯合會に要望するに決定縣各地關係機關の諒解を求めてゐる

匪團跳梁に

鮮滿國境の警備陣强化

【京城支局】鮮滿國境にも春の訪れと共に殺人的酷寒は解消し鴨綠江並に豆滿江上の結氷も漸次緩けつゝあり氷上交通も危險のため禁止されるに至つたが最近春暖で兩對岸一帶に多籠中であつた匪賊團は食糧品調達のため蠢動し出し鮮內襲擊を劃策してゐる者さへ尠なからざるに鑑み國境第一線の警備は息つく暇もなく嚴重警戒中である總督府警務局ではこの全警察陣の擴充を期せしむるため明十二年度には警備員の大增加を斷行することゝなつてゐるが目下第一線各署及各駐在所や出張所に配置されてある軍用犬活躍は目醒しきものがあり警備連絡は勿論犬橇を曳いて彈藥や食糧品の運搬に迄も從事活躍してゐるので更に朝鮮軍鳩犬協會方面とも連絡を取り十二年度には各署及駐在所に三頭乃至五頭宛位增配して益々國境警備陣の擴充を期せしむる計畫である

殉職警官に 祭祀料御下賜

【京城支局】去る二月初旬平安北道碧潼對岸に潛伏してゐた匪首、金日成の率ゐる一隊が朝鮮側襲擊を敢行したる際これを擊滅すべく應戰中不幸敵彈にあたり名譽の殉職を遂げた竹追巡査部長に對し畏きあたりより今回祭祀料として金一封を御下賜あそばさる旨十二日總督府警務局に入電があり三橋警務局長以下各關係員一同いたく感激してゐる

半島農移民 安圖縣に入植

【圖們國通】半島農民の安圖縣入植の第二次團體として今度は咸鏡南道の元山から八百名の大集團が十四日午前六時卅分の列車で北鮮より來着、驛構內にて二時間休憩、同八時卅分京圖線で明月溝に向ひ第一次の咸興農民と同じコースで同地から安圖縣入りをすることになつた

第四軍管區 新兵募集會議

【哈爾濱國通】第四軍管區では十三日午前十一時より市公署會議室に於て濱江省下本年度新兵募集會議を開催、濱江省市公署協和會第四軍管區等軍警機關參集、良民良兵を目標の募集に關して愼重に種々協議した、なほ各縣下並に市內各保甲中より選拔の壯丁につき四月一日第四軍管區司令部體育館にて身體檢査の上七百名を採用することゝなつた

吉川警部補赴任

【公主嶺支局】今回の警察官異動により公主嶺署警務主任より北票分署長に榮轉の吉川忠二警部補は十三日午前十時五十三分發ハトにて家族同伴多數の見送りを受け出發赴任した、因に同氏は司法主任より警務主任に昇任し溫厚圓滿なる人格者でその還谷は部內は勿論一般市民の評判良くその轉任を惜まれて居る

濱江省殉職警察官 合同慰靈祭

―十九日、哈爾濱で擧行―

【哈爾濱國通】濱江省では建國滿五年治安の第一線にたつて尊き建國の人柱となつた殉職警察官の英靈を弔ふため來る十九日午前十時より當地西本願寺に各縣警務廳首席指導官遺族等關係者列席の上建國後最初の殉職警察官合同慰靈祭を盛大に擧行することとなつた

なほ建國以來の省下殉職警察官の數は左の通りである

日本人	一五體
滿洲人	三〇二體
露人	五體
計	三二二體

佐藤、孫兩部隊 共匪を擊滅

【通化國通】十一日共匪百五十と遭遇し名譽の戰死を遂げた靖安軍山浦上尉の弔合戰のため前進中の佐藤、孫兩部隊は潰走する匪團を追及、交戰三時間にわたる戰鬪の後これを擊滅した、この戰鬪においてわが軍は數名の負傷者を出した

鰮漁業の許可制限

【京城支局】半島水產界の王座を占めてゐるいわし漁業は近年各漁船及漁具類の機械化と油肥需要者の增加に伴ひ超躍進的發展を遂げ沿岸隨所にいわし景氣を演出し斯業者のいわし巾着網漁業に轉向或は新規出願者が著しく增加し各道水產課及水產係では出願者の整理に困惑してゐる狀況であるが總督府水產課では半島漁業の統制上從來の規定計畫に基き明十二年度も昨十一年度同樣新規及繼續共に六十件以上許可せぬ方針である

錦承線からも 內地へ通し切符で

近く實現の豫定

【錦州國通】過般鐵道總局において開かれた各鐵路局旅客科長會議に出席した錦縣鐵路局小出旅客科長の歸來談によれば、滿洲各地の主要驛では日本鐵道省並びは朝鮮鐵道局線間に相互連絡があり一枚の切符で旅行出來るのであるが錦承線は昨年八月完成したばかりであるため未だ鐵道省との間に通し切符の連絡がなく沿線居住の邦人は不便を感じてゐたが近く省線との間に連絡成り一枚の切符で熱河から內地へ旅行が出來ることとなる豫定で差當り承德、赤峰、朝陽の三驛で通し切符を發賣することゝなるであらうと

京城花祭り

【京城支局】京城花祭り奉讚會では十二日幹事會を開き本年の花祭り準備について協議したが本年は京城花祭りが開始されて以來丁度十年目に相當するので之れを機會に陰曆四月八日を廢し陽曆の四月八日に開催することに決定する筈であり尙本年は例年以上盛大に開催すべく直ちに準備に着手する筈である

讀者の領分

投稿歡迎 中傷不可

映畫館の喫煙

山猿

三月十日朝刊ブレンソーダの「灰皿出してサービスする映畫館も映畫館だ」の語句は甚だ當を得てないとの北澤生の反駁に對して少々異議がある

多分映畫館の方であらうと推察するが一人でも多くの觀客を得るためには灰皿の要求に應ずるのも又止むを得ないと結論してゐるが、そんな淺間しい商賣根性で觀客の非道德を責める等以ての外ではないか、某映畫館の注意書に

一、煙草の煙は畫面を暗くする

二、マッチをすると折角統一されてゐる畫面への注意力を散らして不快だ

との意味の文字が書かれてあつた、そう云つた態度で柔く觀客の良心に訴へるのは實に穩當ではあるが、當局の手に依つても之が徹底を期せられ度いとは己れの分限を越えた感じがして不愉快だ、空氣が惡いから喫煙が不可ないとしたら先づプログラムの端つこにでも「お互ひの健康の爲に」とか一寸と書いても相當効果があると思ひます、映畫館も觀客もお互に良心的に反省してみる必要がありはせぬか、灰皿出して喫煙の責を一人觀客に負はす手はない

けふの番組

（M・T・C・Y 新京放送局）十六日（火曜日）

（朝）

七、三〇　ラヂオ體操・入港船のお知らせ（大連）
七、五〇　中等滿洲語講座（大連）　講師　秩父固太郎
八、一五　氣象通報・朝の音樂（大連）
八、四五　建國體操
九、三〇　經濟市況（東京）
一〇、〇〇　家庭講座　春休みの過し方　新京西廣場小學校長　瀬川順平
一〇、二〇　料理獻立
一〇、三〇　家庭メモ
一〇、四〇　經濟市況（大連・新京）
一一、三五　經濟市況（大連・新京）
一一、四〇　經濟市況（東京）
一一、五九　時報（東京）

（晝）

〇、〇五　晝の演藝（奉天）　新日本音樂　箏、唄　高木さだ子　辻貞子
箏　放送管絃樂團
一、春の訪れ　二、初便り　三、敷き給ひそ　四、花曇　五、櫻變奏曲　宮城道雄作曲
〇、四〇　ニュース（東京・新京）
一、〇〇　經濟市況（大連・新京）
三、〇〇　經濟市況（大連・新京）
三、五〇　經濟市況（東京）
四、〇〇　ニュース（東京・新京）
四、三〇　經濟市況（大連・新京）
五、二〇　ニュース（鮮語）
ヴァイオリン・ハーモニカ二重奏　ヴァイオリン　李白煥　ハーモニカ　申仲鉉
一、メリーウイドー　二、アメリカマーチ　三、白鳥ワルツ　四、青島マーチ　五、國境の町　六、朴淵瀑布

（夜）

六、〇〇　子供の時間（哈爾濱）　唱歌と朗讀　哈爾濱普通學校五年兒童
六、二〇　コドモの新聞（東京）　騎尾五十二
ピアノ伴奏　小西ユキエ　指揮　方炳玉
一、獨唱　月の照る夜　二、齊唱　マストの兵隊さん　三、朗讀　鉢の木　四、二部合唱　雁
六、二五　名著解説講座（大連）　萬葉集　滿鐵圖書館　橋本八五郎
七、〇〇　ニュース（東京）ニュース・告知事項・番組豫告（新京）
七、三〇　講演（東京）　英國を支配するもの　古垣鐵郎
八、〇〇　唄の明治大正（東京）＝日比谷公會堂より中繼＝
八、三〇　詩の朗讀（大阪）　照井榮三
八、五〇　連續講談（東京）　出世くらべ（上）　小金井蘆洲
九、三〇　時報・ニュース（東京）ニュース・告知事項・氣象通報・番組豫告（新京）
一〇、〇〇　常磐津（奉天）　竹生島　淨瑠璃　常磐津正次　同　湖月一光　三味線　湖月一作　同　龍の家かの子
一〇、三〇　北滿の時間（哈爾濱）

「唄の明治・大正」
當代の人氣歌手に唄はせる
伴奏　日本ビクター管絃樂團

後八・〇〇

司會者　山野一郎
合唱（ホワイト合唱團　ビクター合唱團）
指揮　鈴木靜一

一、日露戰役時代

（イ）ラッパ節　町田嘉章採譜　△……市丸

今鳴る時計は八時半、それに遅れりや重營倉、今度の日曜が無いぢやなし、放せ軍刀に錆が付く（トコトットット）

倒れし兵士を抱き起し、耳に口當て名を呼べば、につこり笑つて目に涙、萬歳唱ふも口の內

私しや餘つ程周章者、藁口拾つて喜んで、につこり笑つてよく見たら、電車に轢かれたひきがへる

降り來る雪の絶間なく、障子あくれば銀世界、さぞやあの地は寒かろと、思へば涙が先に立つ

タタタ田甫の田の中で、ハイカラ姐ちやんが立小便、どぜうが驚いて砂もぐる、田螺がびつくりしてふたをする

疊叩いてこちの人、私しや烙氣ぢやないけれど、一人で差した傘ならば、片袖ぬれやう筈がない

（ロ）戰友　眞下飛泉作詞　三善和氣作曲　△……久富吉晴

こゝは御國を何百里、離れて遠き滿洲の、赤い夕日に照らされて、友は野末の石の下

思へばかなし昨日まで、眞先かけて突進し、敵を散々懲らしたる、勇士はここに眠れるか

あゝ戰の最中に、隣りに居つた此の友の、俄かにはたと倒れしを、我は思はずかけよつて

軍律きびしい中なれど、これが見捨てゝおかれうか「しつかりせよ」と抱き起し、假の繃帶も彈丸中

折りから起る突貫に　友はようやう顔あげて、「御國の爲だかまはずに、おくれてくれな」と目に涙

あとに心は殘れども、殘しちやならぬ此のからだ「それじや行くよ」と別れたが、ながのわかれとなつたのか

戰すんで日が暮れて、さがしにもどる心では、どうぞ生きてゐてくれよ、ものなどいへと願ふたに

空しく冷えて魂は、故國へ歸つたポケットに、時計ばかりがコチコチと、動いてゐるも情なや

（ハ）間がいゝソング　町田嘉章採譜　△……徳山璉

酒は正宗藝者は萬龍、唄は流行のマガイーソング（ナンテマガイインデショー）內以下同じ

厭やだ厭やだよハイカラさんは厭だ、頭の眞ン中に栄螺の壺焼

止めたい思ひが天まで届き、流通さすよに降る今朝の雨

二、明治後期

（イ）ハイカラ節　町田嘉章採譜　△……市丸

ゴールド眼鏡のハイカラは、都の西の目白臺、女子大學の女學生、片手にバイロン、ゲーテの詩、口には唱へる自然主義、早稲田の稲穂がサーラサラ、魔風戀風そよそよと

チチリンリンと出て來るは、自轉車乗りの時間借り、曲乗り上手と生意氣に、兩手放した洒落男、あつちへ行つちやあぶないよ、こつちへ行つちやあぶないよ、あゝあぶないといつてる間に、ソレ落つこちた

拌服姿のバンカラは、電車の車掌か運轉手、色は眞黒けで滑ばうぼう、乞食袋を肩にかけ、もうし危い動きます　切符の無い方切りましよか、込み合ひますから懐中物御用心

（ロ）眞白き富士の根　ガードン作曲　三角錫子作詞　（合唱）

眞白き富士の根緑の江の島、仰ぎ見るも今は涙、歸らぬ十二の雄々しきみ靈に、捧げまつる胸と心

ボートは沈みぬ千尋の海原、風も浪も小さき腕に、力もつきはて呼ぶ名は父母、恨は深し七里ヶ濱邊

み雪は咽びぬ風さえさわぎて　月も星も影をひそめ、み靈よ何處に迷ひておはすか、歸れ早く母の胸に

御空にかがやく朝日のみ光、暗にしづむ親の心、黄金も寶も何しに集めん、神よ早く我もめせよ

雲間に昇りし昨日の月影、今は見えぬ人の姿、悲しさ餘りて寢られぬ枕に、響く浪の音も高し

歸らぬ浪路に友よぶ千鳥の、我も戀し失せし人よ、つきせぬ恨みの泣く音は共々、今日もあすもかくて永久に

（ハ）まつくろけのけ　町田嘉章採譜　△……勝太郎

箱根山、昔や脊で越す駕籠で越す今ぢや寢て越す汽車の窓　叶き出す煙か（マツクロケノケ、マツクロケノケ）（　）內以下同じ

櫻島、薩摩の國の櫻島、煙吐いて火を噴いておこり出し、十里四方が

按摩さん、杖をたよりの流し笛、犬に嚙いて吠へられてむき出す目玉が

山崎の、街道とほとほ與市兵衛、跡から出てくる定九郎、提灯ばつさり

三、大正初期

（イ）どんどん節　町田嘉章採譜　△……市丸

駕籠で、行くのはお輕ぢやないか私しや賣られて行くわいな、父さん御無事で、また母さんも、勘平さんも折々は、便りきいたり聞かせたり（ドンドン）（　）內以下同じ

酒は、もとより好きではのまぬ、逢へぬつらさに自棄でのむ、よしてお呉れよ自棄酒ばかり、弱いからだを持ちながら、あとの、仕末は誰がする

伊勢は、津で持つ津は伊勢で持つ尾張名古屋は城でもつ、家の世帶はあの嚊で持つ、嚊の湯もじは紐で持つ、紐の虱は鰍で持つ

（ロ）カチューシャ可愛や　島村抱月　相馬御風作詞　中山晋平作曲　△……能勢妙子

カチューシャかわいや、わかれのつらさ、せめて淡雪とけぬ間と、神に願ひをララかけましよか

カチューシャかわいや、わかれのつらさ、今宵ひと夜にふる雪の、明日は野山のララ路かくせ

カチューシャかわいや、わかれのつらさ、せめて又逢ふそれまでは同じ姿でララゐてたもれ

カチューシャかわいや、わかれのつらさ、つらいわかれの涙のひまに、風は野を吹くララ日はくれる

カチューシャかわいや、わかれのつらさ、廣い野原をとぼとぼと、獨り出て行くララあすの旅

（ハ）奈良丸くづし　町田嘉章採譜　△…勝太郎

笹や笹々、笹や笹、笹は要らぬか煤竹は、大高源吾は橋の上、あした待たるゝ寶舟

時雨をいとふ唐錦、よしや嵐に亂れても、ほまれは世々に立つ田川山と川との合言葉

胸に血を吐く南部坂、忠義にあつき大石も　心を鬼の暇乞ひ、寺坂來れと雪の中

赤の合羽に饅頭笠、降り來る雪も厭はずに、赤垣源藏は千鳥足、酒にまぎらす暇乞ひ

春ちやん今年ときつなの、御隣の光ちやんと同い年、そんなら光ちやん幾つなの、やつぱり私と同い年

今鳴る時計は六時半、割引遅れちや大變だ、あすの米代あるぢやなし放せ辨當に垢がつく

四、大正中期

（イ）さすらひの唄　北原白秋作詞　中山晋平作曲　（合唱）

行こか戻ろか北極光の下を、露西亞は北國はてしらず、西は夕焼東は夜明け、鐘が鳴ります中空に

泣くにや明るし、急げば暗し　遠い燈もチラチラと、とまれ幌馬車やすめよ黒馬よ、明日の旅路がないぢやなし

燃ゆる思を、荒野にさらし、馬は氷の上をふむ、人はつめたし、わが身はいとし、街の酒場は、まだ遠し

わたしや水草、風ふくまゝに、ながれながれて、はてしらず晝は旅して、夜は夜でをどり、末はいづくで果てるやら

（ロ）新磯節　町田嘉章採譜　△…勝太郎

沖の小舟は帆かけて走る、舟は帆まかせ帆は風まかせ、私しや貴方の心まかせに、なる身ぢやわいな

富士の白雪や朝日でとける、娘島田は情に解ける、あなたにとけて流れて、添ふ身ぢやわいな

寫眞手に取りつくづくながめ、顔や姿に變りはないが、若しやむかし變りやせぬかと、目にもつなみだ

雨は天からたてにはふれど、風の吹き樣で横にも降れど、妾しやあなたにたてにふれども、横にはふらぬ

空飛ぶ飛行機はナイルス、スミス、スミス飛行機はかぢ風だより、妾しやあなたのかぢのとり樣でアノ宙返り

（ハ）籠の鳥　作者不明　△…徳山璉

逢ひたさ見たさに恐さをわすれ、暗い夜道を只一人

逢ひに來たのに、なぜ出て逢はぬ僕の呼ぶ聲忘れたか

貴郎の呼ぶ聲忘れはせぬが、出るに出られぬ籠の鳥

籠の鳥でも智慧ある鳥は、人目忍んで逢ひにくる

人目忍べば世間の人が、怪しい女と指ささん

指をさゝりよと恐れはせぬが、妾しや出られぬ籠の鳥

五、震災前後

（イ）船頭小唄　野口雨情作詞　中山晋平作曲　△…小林千代子

己は河原の、枯れ芒、同じお前も枯れ芒、どうせ二人はこの世では花の咲かない枯れ芒

死ぬも生きるもねーお前、水の流れに何變ろ、己もお前も利根川の船の船頭で暮さうよ

枯れた眞菰に照らしてる、潮來出島のお月さん、わたしやこれから利根川の、船の船頭で暮すのよ

（ロ）帝都復興の歌　小林愛雄作詞　小松耕輔作曲　（合唱）

陽は照る瑠璃の空の下、惡魔の群は跡もなし、若き光のさすところ大地も人もよみがへる

今新らしき土の上、こゝろを堅く結びつつ、若き生命の輝やきに眞理を目指し進みゆく

今音を合はせ槌は鳴る、最後に勝利望みつつ強き力の寄るところ不滅を誇る家を建てん

陽は照る瑠璃の空の下、怪しく暗き影はなし、淸きわが世のあるかぎり、世界に誇る街を建てん

（ハ）君戀し　佐々紅華作曲　（管絃樂）

流行歌「君戀し」を管絃樂で演奏します

（ニ）アラビヤの唄　フイッシャー作曲　堀內敬三譯詞　△…徳山璉

沙漠に日が落ちて、夜となる頃戀人よなつかしい、歌を歌はうよ、あのさびしい調べに今日も涙流さう、戀人よアラビアの唄を歌はうよ

今日の暦
△埼玉縣大宮の官幣大社氷川神社の假殿遷座祭
△ウイリアム・アダムス（三浦按針）來朝（慶長五年）
△島津久光薩摩を出發上京の途に上る（文久二年）
△松平信綱逝く（寛文二年）
△誕生日に當る人―藤田東湖（文化三年）黒木爲楨（天保十五年）
△イギリスの女天文學者カロリン・ハーシエル生る（西曆一七五〇年）

詩の朗讀
現詩壇選手の代表作を網羅
久方振りに嬉しい試み

朗讀・照井榮三　後八・三〇（大阪）

今年度初めての久方振りの「詩の朗讀」です。今回は特に現詩壇の第一線にそれぞれの特色を代表して活躍してゐるチヤキチヤキの現役詩人の傑作ばかりを揃へてみました。從つて既成の自由詩運動過渡期の作品に對して行つたやうな音樂伴奏の偏重に依るロマンチック性を廢していづれも無伴奏に近い朗讀演出形式を以て散文とリアルに濾過された本當の現代詩の朗讀を試みる事にしました。

一、笠鷺と旗と　神保光太郎作

冬であつた。私にとつては長い長い冬であつた。私はその春、まだ雪の消えやらぬ生れ故郷の山々に別れてこの都會に入つて來た。一年。私は人にだまされつゞけた。私は白痴のやうになり、いつも赤くはれあがつた眼瞼に、涙さへ乾いてまつた。雨が降ると私はよく街に出た。泥々の坂をくだり、泥々の坂をのぼり。傘の破け目から、穢なくぐりの雨が髪をひたひたと濡らした私の黄色い顔。それは華やかな街頭を縫ふて行くひとつのまづしい灯のやうであつた。私のゆきつくところはきまつてゐた。エレベーターで昇りきつた高い建物の屋上。そこに小遊園があり、旗がなびき水禽達がうたつてゐた。

雨に青く沈んで見える鐵柵を通して、私の眼はこの鳥達のためにしつらはれた可成廣い庭園の奥をさがした。そこに（枯木のやうな鳥）私が其頃から呼んでゐた一群の笠鷺がゐた。しつぼり雨にたゝかれながら、電柱ばかりが漂々と走つてゐた。枯葉ひとつつけない地平の涯りにぽとりと一羽鴉が舞ひおりてきた又ひとつ。やがて數羽がかたまりたし、這ひ廻りはじめたあのうそ寒い夕暮。しかし、私はあの日、まだ愛することを知つてゐた。今日、私は何を愛さう。私は莫迦だ。私はこのうつろな何もかも芒じ果てた笠鷺のひとりのなかまだ。

笠鷺のうごかない木立のあちらに旗が見えた。雨にぽたぽたしなだれた旗。笠鷺の姿は旣に水しぶきの合間にぼかされこの旗のよごれた紅だけが私の眼に殘つた。この鳥達は決してうごかうとしなかつたときに、二匹がしよぼしよぼと顏を寄せあつめて雨空に切ない眼を向けてゐた。

この一群をかこんで、ペリカン鳥が美しくはしやいでゐたり、鴛鴦がべちやくちや喋舌りあつてゐた。だが笠鷺は何も見てゐなかつた。遠く雲の雲の彼方に、耳をすましてゐるやうでもあつた。雨と風とに、その襤褸に似たからだを堪えて凝くさゝえることのできた一齣の危險信號。いためつけられ虐げられて、莫迦のやうになつた姿。

私はそんなとき、幼なかつた日に見た冬枯の國境のけしきを想ひ浮かべた。やせこけてしまつた私の腕。この都會の黄塵にさゝくれ立つた私の皮膚。私の瞳孔には幾月か振りで涙がにじむのを覺えた。

ほやけてしまつた視界。その片隅になほ、この凍つた雨風にじつとたゝずんでゐる私の愛する枯木達。

笠鷺――おい。羽搏いて見ろ、
旗――互きく靡き出せ、

私はいま、狂つてしまつたやうに鐵柵につかまりながら、いつまでもいつまでも、かう叫びつゞけてゐた。

二、竹禮讃　北川冬彦作

春のいぶきの未だ地に潛めるとき、ぬつとばかりの頭を突き出し、大地を擡げて龜裂を入れるやつに、土龍があるがふ氣にゆつさゆつさと揺れる藪の根元に、人々は眼を留めるべきだ。

いつの間にやら、すくッと伸びた若竹、若さを忘れたら、若竹の姿を思ふのが一番だ。

ところで竹の生き方ほど見事なものは、さうザラには無いだらう。

――疾風には靡くの一手。

――ふりつむ雪には、耐へ耐てゐる。しかし、身にあまると見れば、さらりと外しざまつと崩れおちる雪の瀧うちながめて「にやつ」とする。

――地、搖げば、群がる者どもを載せて、大船のごとしだ。

こいつが不幸、火に見舞はれたのを私は見たが、總身めらめらと焔に包まるとも、直として動じない。やがてツン裂くが如き爆音を發し破滅するのだ。その音は、遠近へ響きわたり、豚どもの惰眠を破つた。

三、原體劍舞連　宮澤賢治作

こよひ異裝のげん月のした、鶏の黑尾を頭巾にかざり、片刄の大刀をひらめかす。原體村の舞手たちよ、若やかに波だつ胸を、アルペン農の辛酸に投げ、ふくよかにかがやく頬を、高原の風とひかりにさゝげ、菩提樹皮と繩とをまとふ氣圈の戰士わが朋たちよ、靑らみわたる灝氣をふかみ、楢と椈とのうれひをあつめ、蛇紋山地に篝をかかげ、ひのきの髪をうちゆすり。まるめろの匂ひのそらに、あたらしい星雲を燃せDAH-DAH-SKO-DAH-DAH

肌膚を腐植と土にけづらせ筋骨はつめたい炭酸に粗び、月月に日光と風とを焦慮し敬虔に年を重ねた師父たちよ、こよい銀河と森とのまつり、准平原の天末線にさらに、も强く鼓を鳴らし、うす月の雲をどよませ、HO!HO!HO!

むかし達谷の惡路王、まつくらくらの二里の洞、わたるは夢と黑夜神、首は刻まれ漬けられ、アンドロメダもかゞりにゆすれ、靑い假面こけおどし、太刀を浴びてはいつうかぷ、夜風の底の蜘蛛をどり胃袋はいでぎつた、DAH-DAH-DAH-DAH-DAH-SKO-DAH-DAH

はせ、四方の夜の鬼神をまねき、樹液もふるふこの夜さひとよ、赤ひたたれを地にひるがへし、雹雲と風とをまつれ

DAH-DAH-DAH-DAHH

夜風とどろきひのきはみだれ、月は射そそぐ銀の矢並、打つも果てるも火花のいのち、太刀の軌りの消えぬひま

DAH-DAH-DAH-DAH-SKO-DAH-DAH-DAH

太刀は稻妻萱穗のさやぎ、獅子の星座に散る火の雨の、消えてあとないあまのかはら、打つも果てるもひとつのいのち

-DAH-DAH-DAH-DAH-SKO-DAH-DAH-DAH

四、浪　中野重治作

人も犬もゐなくて浪だけがある、浪でたえまなく崩れてゐる、浪は走つて來さたまつて崩れてゐる、浪は再び走つて來てだまつて崩れてゐる、人も犬もゐない、浪の崩れるところには不斷に風がおこる、風は磯の香をふくんでしぶきに濡れてゐる、浪は朝からくづれてゐる、夕がたになつてもまた崩れてゐる、浪はこの磯にくづれてゐるこの磯は向ふの磯につゞいてゐる、それからずつと北の方につゞいてゐる、ずつと南の方にもつゞいてゐる、北の方にも國がある南の方にも國がある、そして海岸がある、浪はそこでも崩れてゐる、こゝからつゞいてゐて崩れてゐる、そこでも浪は走つて來てだまつて崩れてゐる、浪は朝からくづれてゐる浪は頭の方からくづれてゐる夕がたになつてもまた崩れてゐる、風がふいてゐる人も犬もゐない

五、僕は　三好達治作

さう、さうだ、笛の心は慰まない、如何なる歌の過剰にも笛の心は慰まない、友よ、この笛を吹くな、僕はもう疲れてしまつた、僕はもう、僕の歌を歌つてしまつた、この笛を吹くな、この笛はもうならない、ーーー昨日の歌はどこへ行つたか？追憶は歸つてこない、春が來た、友よ、君らの歌を歌つて呉れ、君らの、やさしい悲哀を慰めて呉れ、昨日の歌はどこへ行つたか、思出は歸つて來ない、昨日の戀はどこへ行つたか、やさしい少女は歸つてこない

あゝ、いづこの街の黄昏に、やさしの彼女の會話の微笑があるか、僕はもう知らない、春が來た、友よ、君らの歌をうたつて呉れ、君らの歌のやさしい悲哀で、僕の悲哀を慰めて呉れ、僕は今日、春淺い流に沿つて並樹の影を歩いたのだ、空は曇つてゐた、僕は野景に、遠い畑や火櫓をながめたのだ、森の梢に雲雀が光つて飛んでゐた、風に、高壓線が鳴つてゐた、それから、いろいろの悲しい憧憬れか、僕に僕の胸に少し泪を流したのだ、僕はもう追憶の行衛を知らない、友よ、春が來た、君らの歌を歌つてくれ君らの歌の、やさしい歌の悲哀で僕の悲哀を慰めてくれ

六、設計技師　田木繁作

何時の頃からか言葉や文字に對する感興を私は失つた、すべて觀念的なものに對する感激を失つた、言葉と言葉との間をさまよふと言ふことの如何に意味のないことか、一つの觀念に對して他のもう一つの觀念を對立させると云ふことの如何に果敢ないことか

このとき以來私は一字一句も書かぬやうになつた。およそ理論と言ふものを口にせぬやうになつた。默々として私は直線や曲線ばかり引きはじめた。この打つ一點の位置の正しさこの引く一線の方向の正しさ、これらはその限りに於て信用出來るものに違ひない

專ら定規や雲形定規やコンパスにたよりはじめた、これによつて欺かれることは、決してないに違ひない。交る直線と直線の軌跡の上に次第に私の辿つて行く曲線、それは安んじて私の身を托し得るものに違ひない。

たゞ私は私の計算の精密ならんことを願つた。與へられた荷重何キロに對して、ワイヤロープの半徑を何ミリにとればよいか？ワインヂングドラムの半徑はワイヤー・ロープの半徑の何倍にとればよいか？ドラムの中心にかゝる捩キシヤフト・ペンヂング・モーメントに對して安全率は果してどの程度にすべきであるか？私は計算尺によつて小數點以下〇〇〇、、、を求めた。私は又對度數表によつて所要のカーブに關する微分小や無限大を求めた、何といふこれは正確さの極致であることか。

私は私の算出した數字をすべて實線や鎖線や點線においきかへた。これは私の努力を一層確實にするに違ひない。私はいくつもの直線を直線の上へ積みかさねた。眞實の理論といふものは、こう云ふ樣々な長さと角度の合成の過程にあるものに違ひない。私はつながるドラム・シヤフトの平面圖を描いたかみ合ふ主動ギヤーと中間ギヤーと始動ギヤーの則面圖を描いた。眞實の體系と云ふものは、恐らくこう云ふ線圖の全體として現はれてくるものに違ひない。

私の描いた線圖はやがて現場へ廻される。そこでそれは鐵板の上へ寫される。私の引いた直線に沿ふて切りさかれ、私の引いた曲線に沿つて曲げられる鐵板。次第に鋼鐵によつて實現されて行く私の意志その完成の日を思ふとき、俄かに私の心は昂奮してくるのだ感激をとりもどすのだ。――クラッチに手をかける。――

がくりとかみ合ふギヤーとギヤ。搖れうごきはじめるワインヂングドラムぴいんと延びきるワイヤー・ロープ忽ちがあーんと大きなうなりを立て、遙か前方からつりあげられてくる巨大なる鑛塊。

七、墓標都市　月原橙一郎作

この街は、區劃整理が濟んでゐる。整然と仕切りがついてゐる。戸口にみんな花束が飾つてある。こゝの棲みては詩人ばかりらしい。そつと花束を捧げに來る娘があるらしいひつそりしたこの町には、むつつりした哲學者ばかりゐるらしい。どの家も戸が締つても音一つしない。裏口にはオシヤベリの隣りのお內儀さんがゐる筈だが、何しろこゝには共同水栓もない。表通りにぱラヂオをならしてゐる店が、二軒位はキツトあるんだがみんな公休日なんだろ。

この町へ來ると、みんなもの靜かに目を瞑つて考へ込むらしい。いちんち中場末の活動館でクラリネットを吹いてゐたあの樂士も、ひと晩中、醉つぱらひ相手に歌つたり踊つたりしたあの女も、豫防注射で忙しかつたあの醫者も、戸別訪問に驅け廻つたあの町會議員も、朝つぱらから演説してゐるあの氣狂ひも、まつぴるま赤い着物で踊つてゐたあのチンドンヤも、毎晩ポストの横でナバナをたゝき賣りしたあの男も、交通巡査も、おでんやも、産婆も、政黨員も、教授も、兵隊も、市長も、落語家も、村長も、船頭も、映畫スターも、みんなみんなもの靜かに考へ込むらしい、あれ程賑やかな夕暮れ時の子供さへ、ここの街の夕方にはひとりも遊んでゐない。

ここではみんな何を考へてゐるのだろう。あいつはあの時のウソが氣にかゝつてゐるんだ、あいつはあの時のごまかしがとがめてゐるんだ、あいつはあの時の裏切りを恥じてゐるんだ。あいつはあの時の盜を後悔してゐるんだ、可哀そうに子供らは、あの時に叱られたのが忘れられないんだ。

みんな額に手をやつて、あの時のことを考へてゐる、御飯時にも御飯を食べないで、だまりこくつてあの時のことを考へてゐる。

この町は靜かな街だ、この街は白い街だ、夕暮れに雀がちよつと家根のテッペンで首をかしげてみんなに日が暮れたのを知らせてゐるだけだ。

この街は音のない街だ、この街は冷い街だ、朝のうち鳥が家の上をかすめて、影を落してみんなに夜が明けたのを知らせてゐるだけだ。

この街は蒼い街だ、この街は默つてゐる街だ、ひるまの葉もれ陽に紫陽花が、色變りしてみんなに光りの移りを知らせてゐるだけだ。

この町は死んでゐる。この街は雨が降つてゐる。この町には日めくりがない。

――多磨墓地にて――

文藝

陽春閑談

戸川秋骨

私が正式に學校の先生となつてから、もう殆んど四十年になるが、その間に於て教員室で必ず耳にする言葉があつた。それは「今の若いものは—」といふのである。今の學生がどうしたのだ、といふと、今の若いものは學問がない、勉强しない、人間が劣等になつてゐる、といふのであるが、若しそれが本當なら四十年經つた後の今の學生は、仕様のない下等なものであり、學問もなく品性も劣等であり、もう少し經つたら、犬猫以下になつてしまふわけだが、先生方のそんな批難にも拘はらず次ぎ〳〵に豪い人が、若いもののといふ、その若いもののうちからは鮎川義介君も出て居る。それから數年後の若いものの内からこん度結城氏のもとに坐つた賀來市松君も出て居る。社會評動の鈴木文治君もさうである。學者には植物學の博士中井猛之君がさうである。お醫者の福吉博士、片山博士もさうである。私には一番面白いと考へられる例がある。體操の先生が、今の若いものと云つて酷く批難し、處分すると言はれた學生が二人あつた。私はその時のキッカケから强硬に體操の先生のこの意見に反對した。この二人の若いもののうち、一人は京都帝大の教授になり、今一人は滿鐵の理事になつた。帝大教授も滿鐵の理事も、陸軍歩兵少尉から見れば下等なものかも知れないが社會上の地位からすれば、比較にはなるまい。

□

いや斯らいふのは例外なるものが非常に澤山にある。當時の先生程度の人ならば、一人殘らず悉くそれほどの位置に立つて居ると云つても大した間違ひではない。私は今でも左様考へて居るが私と比べると大體に於て今の學生の方が考へ方も學問も頭もよく勉强もずると思つてゐる。がこの考へが間違つて居るとすると右にのべたやうな變な現象をどう考へたら宜いのであらうか。私の學生時代には下讀みなんか殆どした事はなかつた數學なんか全然だめであつたであるけれども、それかと云つて、何を勉强したといふ事もなつた。それで居て先生になつたのだから、君は餘程の秀才だつたのぜらろと言はれるかも知れないが決して〳〵そんな事はなく私は鈍中の鈍なるものである。自分をもつて標準とすればいつでも所謂「今の學生」の方が遙に勝つて居ると斷言しやうと思ふ。私の考は間違つて居るかも知れないが、進歩はなくなるのであるから私の考へ方も全く間違つて居るのでもなからうか。さらに先生方の「今の學生……」と言はれるのは、學生を鞭ち學生を向上させる爲めかも知れない。果してさうとすれば、私のこんな事を言ふのは悪い事になる。

"メークアップ"

松尾小女郎

メークアップ肩も淋しい春の風
十人十色失戀を笑はれる
刺青を見せて女の職侮する
月給が中で春着も人の並
女秘書惚されてゐる花を代へ
押賣りの眼には情のない夫人
歸國談先づ日本のあたたかさ
見知りあつて見れば科長もいい人だ
違約した一人が見入る告知板
のみ込んで居ります三味の撥の位置
軍歌など交じへて戀のハイキング
母親の手で恙なく三十四
母親へすまむエプロンかけさせる
京の橋なくてはならぬロケーション
金のない親代りなる四月馬鹿
人情の薄さの中の乞食道
胄刺に今日も就職難を味
純喫茶小猫へ閑な女給居る
丸橋へ來てはつきりと戀に觸れ
卒業へ「螢の光」醉うるみ
重役の醉ひは校歌の音頭とる
佐渡おけさ踊るは恰度醉加減

つくつくぼうし

大脇歌津緒

逝きしひとの
幻に泣きぬれて
春の邊に一人
つくつくぼうしを摘む
過ぎ去りし遠き日は
君と二人
この野邊に、かくありて
睦言の夢に醉ひしに、
今はただ
吾一人
泣きぬれて　あわれ
つくつくぼうしを摘む

森樂明氏歡迎句會

三月九日於麻姑居

洗面器に入れて蜆を濯ぎをり　不明
暖かや木の間の日筋頭に感ず　同
小菊菜を少し浮しぬ蜆汁　同
土房二三野のふくらみに日はぬくし　同
椽の芽のほぐれて河邊暖かに　同
暖かや城樓に借る遠眼鏡　同
手拭に包みし蜆ふりながら　姑
貸舟の旗新なり蜆川　麻
奥地より出て來て宿の蜆汁　同
廊に並ぶ駱駄の小屋や暖かき　同
膝折りて荷を待つ駱駄暖き　同
籠鳥吊る鋪道並木や暖し　天
暖かや道行く土の踏心　霜
空臑のあはれ子供や蜆賣り　同
暖かやお猿の檻の人だかり　同
暖かや庭一面の　島
あらはなる馬糞の道のぬくさ哉　秋
暖かや庭に衣張る母の聲　常人
擂鉢に山と買ひける蜆哉　梵人
蜆賣る子に重たげな籠の量　杏陽
　曉人

書架

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

△滿洲行政（三月、建國五周年記念號）建國五周年記念號として建國回顧の寫眞、建國當時を回顧する座談會、諸氏回答の思ひ出と希望、自治指導部資料等を載せてゐる、なほ阪谷希一氏「滿洲産業建設に就いて」小原久幸氏「滿洲國産業計畫の日本産業への影響」藤山一雄氏「滿洲帝國恩賞考」磯部秀見氏「滿洲國宗教國策論」瀧川政次郎氏「契丹佛教文化史考を讀む」高本廣一氏「歴代屯田制度に就いて」等があり、この雜誌の堅い方面を充實させ杉山正三郎氏「國境短章」と長谷川氏の創作「興安館の人々」は異彩を添へてゐる（新京興安大路一ノ一六、滿洲行政學會、三十五錢）

△正命週報（第十號）二月第四週の記錄、一九三六年の國際農産市況、諸統計等（東京市）

△新小説（滿洲帝國國民文庫第二十五集）八つの作品が收められてゐる、その題を列記すれば、「一」「歸途中」「一瞥」「盲」「有點不太平」「紅色的夢裡」「擾憂着七月」「人性」「戰線的西端」である。内容については別に改めて書いて貰ふことにしたい（新京東六馬路、大同報社、一角）

△大東文化（三月號）鵜澤總明「王道の本質と滿洲帝國建國五周年」藤澤親雄「共産主義論」水木惣太郎「臣民論」等を揭載した菊倍判十二頁のリーフレット（東京市麴町區富士見町一ノ七ノ一五、大東文化協會、十錢）

△昭和維新（三月號）大村伸「政黨解消論」船口萬壽「日本資本主義發生史」戸野「スペイン動亂の世界史的意義」等（東京市赤坂區青山北町四ノ十三、政黨解消聯盟、年一圓）

△アカシヤ（三月號）石井直三郎先生に就て（伊東千鶴子）青山莊日記（甲斐雍人）、秋風抄（大下三雄）、感銘歌私鈔（甲斐水棹）、合評等

乙女ながらも口紅うすく女車掌の自覺たしかによく徹るこゑ　甲斐水棹

新入學、進級を控へて弱い子を丈夫に

學業、運動などの疲勞を輕減す

新しく入學し、又は進級されるお子樣は今後の學課の勉强や運動に身體の狀態が充分耐へられるかどうかといふ事を氣を附けねばなりません。夜、睡眠中に寢言をいつたり、夢に怖えたり盜汗をかいたり、また食慾が減り、元氣がなく、晝も居眠りをするといふやうな樣子が現れましたら、學課や運動がお子樣に取つては無理となり、健康を脅かされて來た證據と思つて間違ひありません。それを防ぐためには若素（わかもと）をお與へ下さい。

精神的にも肉體的にも疲勞を防ぎ、能率を向上する効果のあるビタミンB複合體や、燐酸化合物を豐富に含み、細胞賦活の作用と相俟つて、それらの疲勞を輕減し更に一層の學業と運動に耐へ得る腦力體力を養はしめます。

發育を促進抵抗力を大にす

生れ附き虛弱だつたり、哺乳時期に胃腸を痛めたりしたお子樣は、發育がおくれ勝ちで筋肉や骨骼の發達が惡く、背丈も人並に伸びず、身體が瘦せてゐて、胃腸の病氣や、寒冒、呼吸器などにも罹り易いのですが、そんなお子樣には若素（わかもと）をお與へになりますと、肝油その他の一二の成分のみを含んだ榮養劑のやうに、體質に適ふ適はないとか、副作用などを考へる心配なく、發育を促進するビタミンB複合體や諸種の酵素その他の成分の作用により、必要な榮養素も補へば自ら食物から榮養素を攝る力も旺んとなつて、發育がよくなり、身體も次第に肥つて來、抵抗力も昂まつて、病氣にも罹り難くなります。人工榮養の赤ちやんは母乳兒に劣らぬ發育をみせます。

榮養增進の根本である食慾と消化力をさかんにすることは、若素（わかもと）の大きな特色であります。苦味劑など刺戟して食慾を進めたり消化劑などで他から消化力を補つたりするのと違ひ、胃腸全體の機能が强化され、その結果として自然に食慾もすゝみ、消化作用も活潑になるのでありますから、藥を止めれば元に戾るといふやうな賴りのないものではありません。從つてお子樣によくある喰べ物の好き嫌ひも矯正され易くなり、汎く色々の食物を喰べる事が出來て、榮養の偏頗になることを防ぎ、便通もまた順調になります。

胃腸
榮養

若素
わかもと

親は胃腸病輕快　子は風邪をひかなくなる

（愛知）飯谷範吉

小生三年前まで慢性胃腸病にて困つて居りましたが、東京朝日新聞にて若素（わかもと）の効果あることを知り、直ちに服用致しましたところ、順次快方に赴き、元の如き健康體になりました。おちまして、毎日仕事に精進出來まして、傍ら引續き服用して若素（わかもと）の恩惠を蒙り蔭を持居ります。

一年半程前には友人三名にも効果の優秀性を物語り、同じく服用致し居り、健康增進には格別の効果があると申して、甚だ感謝致し居る次第です。

倘小生の倅（尋常三年生）は腺病質にて、甚だ悲觀し、肝油その他を服用させて居りましたが、いろ〳〵の都合にて永續きせず、試みに小生愛用の若素（わかもと）を一年前より引續き服用致させました。非常に喜んで服用致しますが、以前に比較すれば風邪の引き方も少なく、體重も增して來ました。一般の健康な體格に向上するのも間近きことゝ信じつゝ毎日服用させて居ます。

受驗勉强が崇つて　大腸カタルに

（北海道）新關達男

生れて一度も病氣らしい病氣をしたことのない私でしたが、一昨年十二月に受驗勉强で無理をした爲に胃腸を害しました。最初はさほど大しだ事とも思はずに、藥店より胃藥を買ひ服用して居りましたが、なか〳〵快方に向はず、二月に入つてからは晝夜腹痛をおぼえ、醫師の診察の結果は輕い大腸カタルとのことで、幾分安心した樣な氣持で、尙も醫藥を續けて居りましたが下痢は益々激しくなり、榮養食は攝つても効果がなく、衰弱は一層甚だしくなりますので、或る日當町蔭山藥店に行きましたら、若素（わかもと）をすゝめられました。

あまり氣が進みもしなかつたのですが、一圓六十錢のを一箇買ひ求め、服用致しましたら、恰度二日目の朝いつものあの下痢が軟硬になり、氣分も幾分良い樣な感じになりました。これに氣が强くなり服用を續けて居りましたら、殆ど下痢が止み腹痛、腹鳴は止まりました。

藥價低廉

三錠百入　壹圓六拾錢

三百錠は大人には廿五日量・十歳前後の兒童には約四十日量・五歳前後には五十日量・三歳前後には六十日量に當る

株式會社　わかもと本舖　榮養と育兒の會

東京芝公園・振替東京一七〇〇番・電話芝代表一一七五番

新土滿洲を截つて 節子さん北へ行く

國都に一泊今朝九時廿分發 ファンを惱ませつゝ

世界の戀人

アーノルド・ファンク博士の「新しき土」に主演して一躍世界の銀幕の戀人となつた原節子さんはファンク博士の懇請に應じて義兄熊谷久虎監督、東和商事社長川喜多氏夫妻に伴はれて憧れのドイツへの晴れの旅路の途次、十五日午後六時廿分着あじあで國都新京に下車、驛頭出迎への關係者並に多數ファンの歡迎裡に一旦ヤマトホテルに入つたが少憩の後、午後七時三十分より豐樂劇場喫茶室において行はれる座談會に臨んだ、新京放送局ではこの世界の戀人の美聲を電波にのせるべく三十分間に亘つて座談會實況を國都ファンに放送したが、〃節子さん來る〃の報に押し寄せた多數ファンのために豐樂劇場の內外は異常な賑ひを呈し流石世界人氣の王座をゆく節子さんの麗名に如何に多くの關心が寄せられてゐるかを物語つてゐるものであつた、放送後一行は再びヤマトホテルに歸り同夜は國都に一泊今朝九時廿分發列車で淸楚な一夜の印象を國都に殘して一路「新土」滿洲を截つて「節子さん北へ行く」の旅路に就く（寫眞は豐劇に現れた節子孃とサイン）

驛頭ではモミクチャ

これよりさき新京驛のプラットホームは到着前から既にファンで一杯埋められ物凄い

歡迎 振りであつた、やがて歡迎の主人公節ちやんを乘せた「あじあ」がホームに滑り込むや熱狂せるファンはざあーと波の樣に後部に連結された二等車に向つて殺到した、當の節ちやんは洋裝で白の霜降りのオーバに身を固めサイン攻擊を避けるためにマスクをして顏をかくし義兄熊谷氏や川喜多夫妻に護られる樣にしてホームに下りた、逃げる樣に群集を押し分けて行く姿をファンに發見され「節ちやんはあれだ〳〵」と叫ぶ者があり忽ち待ち構へた群集の波に呑まれてしまつた、めちやくちやに揉み拔かれて開札口から出ると又もや押し寄せたファンで自動車の進路をはばまれて仕舞つた、漸くヤマトホテルにのがれて來ると今度は驛頭で餘り物凄いファンで遂に撮りはぐした寫眞班の攻擊だ、部屋に落ち着いて義兄や川喜多氏と一緒にカメラの前に立つた節ちやん「一寸笑つて下さい」と注文されてもニッコリと微笑しただけですぐ下を向いて仕舞ふ「新らき土を踏んで感想はどうです」「何とか云つて下さい」矢つぎ早な記者の質問には唯微笑んだまゝで鐵砲彈の樣にまるで何の反應もない、仕方なく義兄熊谷氏に救ひを求めると「疲れてゐるのですぐ休み度いと思つてゐます

新京 に女優の來たのは始めてですか

―十六日朝九時二十分の列車で出發します」と簡單に答へたが新京に女優の來たのは始めてではないがこんな人氣のある女優さんの來たのは始めてであると云つて良いだらう

鳴かぬホトヽギス 節子孃、チョッご饒る

昨夜、豐劇の放送一幕

原節子さん一行を圍む座談會の實況放送は十五日午後七時三十分から豐樂劇場二階の喫茶室で行はれた、喫茶室の片隅にテーブルが四つ繋ぎ並べられてあつてその上にマイクが置かれてある、それを圍んで放送局、新聞社その他の關係者達が節子さん今や遲しと待かまへてゐる、電話で驛着後の情報が入つて來る、驛頭の物凄い出迎へにすつかり脅えきつた節子さんは恐らくマイクの前で何も喋べれないだらうといふ、隨つて座談會などと思ひもよらぬこと、せいぜい挨拶ぐらゐが關の山だらう、ひよつとしたらこれも危なさゝうな話だ

長谷川放送局長はじめ美濃谷アナウンサー等些か狼狽して何んとか喋つて貰はなければ困るといふ、放送局が太閤さんなら節子さんは鳴かせて見せやうホトトギスだ、さうかうする裡に定刻七時三十分が來たが肝心の節子さんがやつて來ない市中見物で十分ばかり遲れるといふ報告、滿洲に來て節子さんものんびりして仕舞つたらしい

美濃谷アナウンサー、長谷川局長の挨拶などで時間を繫いでゐる裡に同四十五分、川喜多夫妻と熊谷監督に伴はれて節子さん劇場二階へ到着したがマイクの前に「男」が澤山ゐるなら「わらわは恥しくて放送はイヤヂャ〳〵」と駄々をこね姬御前仲々上つて來ない、そこで「男」大勢に隱れて貰つて無理矢理に引つ張り上げる、來た！來た！黑い洋服に黑い帽子、黑いマスクを掛けた「黑衣の處女」節子さん！、恥しさうに目をふせた儘顏を掩ふやうにしてマイクの前に小さくなつて腰掛ける

可愛いゝ「世界の戀人」節子さん、これぢやあちらのブロンド相手にお芝居が出來るかしら、と心配だ、でも、美濃谷アナウンサーの紹介が終ると、黑いマスクを脫して美しい唇を綻ばした

『妾が原節子で御座ゐます此の度びファンク博士の招聘によりましてあちらに參ります、幸ひ妾の主演しました「新しき土」が機緣となりまして日本映畫が海外進出の機會を得たことを喜んでゐます、どうぞ皆樣御聲援下さい、では行つて參ります』

遂に鳴いた世界のホトトギス美しい一聲だ、國都ファン待望の肉聲、電波に乘つて春の夜空を飛んだ

◇……◇

七時二十五分、どうやら時間一杯に漕ぎつけた、終了アナウンスが終ると新聞社のカメラ班が砲列を敷く、傍らからは繪葉書、ハンカチ、名刺等が出されて節子さん今度はサインぜめだ

『マスクを取つて下さい』『顏をあげて下さい』『こちら向いて』

等々の注文に恥しがつてばかりゐた節子さんも些かむくれて

『まだなのッ』

と、あの明眸をトンガラかして寫眞班を睨みつけた、然し流石にそこはお商賣柄、ちよつとポーズをつけてカメラに收るパッ〳〵と閃光數條、これが消えると節子さんサッ〳〵と階下に降りて終つたので、座談會ならぬ座談會はこれで幕「世界の戀人」の心臟は弱いやうで强かつたデス！

武器彈藥竊盜密賣犯 齋藤文衞等處刑

＝關東軍軍法會議發表＝

元後備役陸軍步兵准尉齋藤文衞に對する竊盜及び關東廳令銃砲火藥取締規則違反ならびに大石政記、中村勇之助、福田英雄、鈴木サトに對する各贓物故買及び關東廳令銃砲火藥取締規則違反被告事件の關東軍々法會議は村山一馬少佐を裁判長、坂口實氏を主任法務官とし相内禎介檢察官立會の下に二月廿五日第一回公判が開かれ爾來審理を進めた結果三月九日左の如く判決言渡しがあつた旨十五日正式發表された、なほ右事件に關聯せる滿人被告人七名に對しては奉天第一軍管區軍法會議によつて夫々處刑された、關東軍發表判決主文左の如し

本籍　千葉縣海上郡三川村四、八九一
現住所　奉天雪見町一番地
陸軍用達商、元後備陸軍步兵准尉勳八等
齋藤文衞（四六）
懲役十年に處す

本籍　福岡縣八女郡廣川村太田一、三二五
現住所　奉天彌生町四番地
中山忠光方無職
大石政記（四二）
懲役七年、罰金百圓に處す

本籍　長崎縣南高來郡口之津町一、一一五
現住所　奉天江の島町十三番地
飲食店中村勇之助（五一）
懲役八年、罰金五百圓に處す

本籍　愛知縣北設樂郡武節村黑崎一一
現住所　奉天商埠地南市場南四經路五三號土木請負業
福田英雄（四二）
懲役七年、罰金百五十圓に處す

本籍　福島縣若松市堺町一八五
現住所　奉天紅梅町五番地
鈴木房吉妻
鈴木サト（四四）
懲役二年、罰金二百圓に處す（但し五年間懲役刑の執行を猶豫）

犯罪事實概要

被告人齋藤文衞は昭和八年以來奉天駐屯某部隊用達商人として某部隊に入夫軍需品等の

供給 を請負ひ居る者なるところ、右用務の爲常に某部隊小東邊門倉庫に出しおりたるが同倉庫には押收彈藥多量に集積しありて、これに對する監視十分ならざるものあり、且つ被告人は同倉庫係員と顏馴染なる上在鄉軍人准尉なるところより被告人の出入に對し門衞がその服裝檢査等を爲し居らざりしを奇貨とし右押收彈藥を竊取賣却せんことを企て昭和八年七月頃より同十一年十一月頃までの間百數十回に亘りその都度モーゼル拳銃彈またはブローニング拳銃彈を數十發乃至百發等々合計約二萬四千發を盜出の上、所轄警察官署の許なきにも拘らず擅にこれを盜出の都度相被告人大石政記、中村勇之助等に對し滿鐵附屬地內なる同人等住居において一發九錢または十錢宛にて讓渡したるものなり被告人大石政記は昭和八年頃奉天浪速通陽館にホテルボーイとして勤務し其頃同館帳場員たりし相被告人齋藤文衞と

親交 ありたるものなるが、同年七月頃より同九年十二月頃までの間に數十回にわたり右齋藤文衞が竊取し來りたる拳銃彈中約五千發をいづれも贓物たるの情を知りながら所轄警察官署の許可なきにも拘らず擅に奉天滿鐵附屬地內なる自宅において一發約九錢にて讓受けこれを相被告人中村勇之助、許外被告人佐藤定男、滿人陳德魁等に轉賣利得したるものなり、被告人中村勇之助は明治四十三年渡滿し南滿各地を轉々の上奉天に轉住し肩書住所において飲食店を營み夙に相被告人大石政記、福田英雄等と交遊し居りたる者なるが昭和八年九月頃より同十年七月頃の間に十數回にわたり所轄警察署の許可なきにも拘らず、擅に被告人大石政記より前示同人が齋藤文衞より入手したる拳銃實包合計約五千發を贓物たるの情を知りながら滿鐵附屬地內なる

自宅 において一發十一、二錢にて買取り、さらに同十年七月頃より同十一年十一月頃までの間數十回にわたり齋藤文衞より右同樣拳銃實包合計約一萬九千發を右自宅において一發約十錢にて讓受けこれを相被告人福田英雄同鈴木サト同人夫人鈴木房吉滿人穆子元等に轉賣利得したり、一、被告人福田英雄は東京市神田電機學校夜學部を了へ大正六年渡滿後は電氣業務、新聞事業等に携りつゝ土木建築請負を業としたるがその頃奉天において拳銃密賣等により罰金刑を受くること二回に及びたる者なるが昭和八年七月頃より同十一年六月頃までの間十數回にわたり友人たる被告人中村勇之助より同人が齋藤文衞より入手したる拳銃實包中合計約七千五百發を所轄警察官の許可なくしかも右實包は皆贓物たるの情を察知しながら滿鐵附屬地內なる自宅において買受け

前顯 鈴木房吉、滿人李惠民、同孫臣九等に轉賣利得したるものなり、被告人鈴木サトは無職鈴木房吉の妻にして房吉が昭和十一年七月銃砲火藥取締規則違反罪により處刑下獄したるため生活難に陷り、かねて房吉が其友人中村勇之助より拳銃彈を買受けこれを轉賣利得し居りたるをもつて右不法利得を行ふことにより家庭の窮乏を救ふべく所轄警察官署の許可なきにも拘らず昭和十一年七月より同十一月に至る間數回にわたり中村勇之助に依賴し同人が齋藤文衞より入手したる拳銃彈中合計約五千發をいづれも贓品たるの情を知りながら滿鐵附屬地內なる自宅において一發十六錢宛にて讓受けこれを滿人馬忠驤に轉賣利得したるものなり、しかしていづれも被告人等の判示各犯行は犯意繼續に出でたるものにしてなほ被告人等が取扱ひたる

前示 拳銃實包は殆ど全部順次滿人の手を經て東邊道方面に蟠居する匪首貨錫山、同老光鳳、同海字等の賊徒に轉賣せらるるにいたりたるものにして被告人等はかゝる事情を概ね察知しながら前記犯行におよびたるものとす

ハルビン交響管絃樂協會 南滿演奏の旅

新京の演奏日は未決定

會長に施履本市長を顧問に安藤特務機關長、佐藤總領事等在哈知名の士を戴く滿洲唯一のオーケストラ哈爾賓交響管絃樂協會の第一回南滿演奏は大連二十七日奉天二十八日と決定、新京演奏會に關する打合せのため協會マネーヂャー川股重太郎氏は十五日來京滿鐵事務局地方課社會係と種々打合せ協議を行つたがいづれ滿鐵の主催で開催されるものと見られてゐる

同交響管絃樂團は前モスコー帝室音樂院に學び革命後上海オーケストラチーフコンダクターを勤め夙にその名聲を知られてゐるシュワイコフスキーを指揮者にペトログラード音樂院にヴァイオリンを學び世界的提琴の名手ミッシャエルマン氏と同窓のトラフケンベルグ氏を樂長に名セロリストブリホチュ氏、ハーピストドルヂニーナ女史、十三歲の天才ヴァイオリニストユ・ボンチオスモロフスキー君を始めいづれも帝政ロシア時代モスコーに於てその名を謳はれた樂手五十餘名を擁し現在東洋に於ける代表的オーケストラ上海工部局オーケストラをはるかに凌ぐとまで云はれており

その演奏は國都樂壇に多大の期待をかけられてゐる

新電話簿は五月一日發行

變更希望者は速に申込のこと

電々會社では來る五月一日を以つて新電話番號簿を發行すべく準備中であるが、加入者で掲載變更請求者はなるべく受付期限たる三月末日までに屆出るやう、なほ屋號、氏名等の重複掲載を希むものは一ケ所に付料金年額二圓、また自分所有の電話でなく借りた電話を自分の氏名や稱號で載せる他人名義掲載料金は年額八圓とのことである

犬養健氏邸に 强盜

【東京國通】東京市會議員選擧の選擧演說に疲勞してグッスリ寢込んだ犬養健氏邸に、十四日夜玩具ピストルを携へた强盜が侵入、夫人とみ子さんから「話せば判る」と說教され、結局十七圓をもらつてアッサリ退散し、上野動物園で優良犬として表彰されたテリヤ三頭も話せば判ると思つておとなしくほえずに見物してゐた、犬養氏の犬飼ひは失敗したわけだ

權太商店特產部 獨立開業

市內東五條通り權太商店では今回特產部を獨立太記棧と命名代理業を開業することゝなり、十四日午後二時から餘興樓に日滿業者五十餘名を招待披露宴を張つた

輸組視察團は 十七日歸京

內地見本市參加のため旅行中であつた新京輸入組合、新京貿易組合員一行二十五名の歸京は十七日午前九時四十五分着列車に變更された

西川前商業教諭 十八日歸國

新京商業學校教諭西川正郎氏は今回後進に途を開き勇退することゝなり、十八日午前十時新京驛發はとで歸國する、同氏は大正十二年着任以來十四年間森川、東、赤塚と三代の校長に仕へ京商のため盡した功績は枚擧に遑なくその勇退は各方面から非常に惜まれてゐる

鍼灸按師會役員

既報＝新京鍼灸按師會發會式は十五日午前十時から記念公會堂で開催され役員は左の通り決定

會長　須賀茂一
副會長　富田順三
會計　姬野庄造
書記　上野秀雄
評議員　河村一
同　關健造
同　高宮重五郎
幹事　藏田次郎
同　瀨川幸孝
同　園田部
同　山崎日出男
同　柴北正義
同　鳥川五郎
同　後藤十郎

料金は從前通りと決定、其の他相互援助問題等雜件を協議して午後三時散會、懇親宴會を催した

航空便復活

十五日は積雪のため各航空線發着ともに缺航したが十六日は通常に復するはずである

プレンソーダ

中銀建築事務所の青山工學士、忙しい仕事の片手間に新京煤煙防止委員會の常任幹事として八面六臂の活躍をつづけてゐる▼同氏さる日幹事會の席上卓を叩いて曰く『國家の歲計二億五千萬圓未滿の滿洲に於て▼一年に三千六百萬圓の石炭を空に吹き飛ばしてゐるんだ我々の事業計劃を實現すればこれを全滅しないまでも半減する位のことはわけなきことである▼さうすれば一ヶ年一千八百萬圓の金を浮かすことが出來る▼その事業費に一ヶ年十六萬やそこらの金は問題じやないではないか』と滿洲國のお偉方お分りですか

悲戀 髑髏組

(映畫化上演)

林杢兵衛 金子士郎 書

妬みの刄(二) (三十一)

「爺や放せ！」

「耐へなせえまし、大事な處では御座りませぬか」

甚左衛門は、そうした二人を尻目にかけて歩み寄り、

「さうだとも、大事な生命の瀬戸際だがさうして居れば先づ無難、文句があつたら耶へ參れよ」と、吐き出すやうに云ひ捨て、倅の藤三郎に追ひつき、身を藻掻く幾代を左右から抱へるやうにして引摺り去る。

水車小屋の經緯如何にと、空駕籠舁いだ勘太と小六が、高聲で何やら話しながら來かゝる土堤で、幾代を擁護する井筒親子にばつたり逢つた。

「おゝ、そち達は先刻の駕籠屋」

「へえ……」

「よいところへ參つて呉れた。此の女を乘せて急いで呉れ」

「へえ……」

二人は暫しく目をぱちくりさせ、再び幾代を乘せて歸る妙な因縁に、少からず奇異を感じて駕籠を擔した。

甚兵衛に抱き止められた刑部は、歯を喰ひしばつて堪へ難い屈辱を我慢した。

「よく御辛棒下せえました。あの場で斬つて仕舞へばそれッ切り、益々あなた様のお身を狹くするやうなもので御座ります」

「……………」

「定めし御無念で御座りませう。お察し申します」

言葉を盡して慰める甚兵衛。

「爺よ、拙者はもはや覺悟してゐる。何處に頼りどころがあつてか知らないが、あれまでに慕ひ寄る幾代を、此の儘打ち捨て置いては人情がすたり、武士道が立たぬ」

「ではお前様は非常の途へ……」

「うむ、許し難い奴だが、一時は幾代とそちの身を案ずるあまり耐え忍んだ。しかしよく考へると其の要はなかつた。今暫のうちに助け出されば、幾代は自害をして果てるかも知れぬ」

「事に依ると、あの勝氣なお嬢様……心に懸ることも御座ります」

甚兵衛も何處となく不安氣だ。

「爺よ、何も彼も斯くなり果つる運命だ。拙者はこれから乘り込んで、即座に幾代を連れ戻る」

「あなた様の御氣質では……これも是非ないこと。爺はもう止めましねえ。行つて御座らつしやいまし。そうしてその足で、直ぐ江戸へお發ち下せえますやう」

「うむ、よく云つた。では爺よ確者で暮せ！」

「あ、もし、待つて下せえ」

呼ばれて振返る島宗刑部。

「外でも御座りません。此の廣い世界に、これから後あなた様より外には、身寄りも頼りもなんにもねえお可哀さうなお嬢様、どうぞ宜しくお願え申します。これが爺やのたゞ一つのお願えで御座ります」

涙と共に幾代の將來を刑部に託す甚兵衛。

「分つてゐる。何れにしてももう一度此處へ戻つて來る積りぢや」

「心配せずに待つてゐて呉れ」

さう云ひおいて驅け出す刑部。

甚兵衛は戸口まで追つて見送り、

「お氣をつけて下せえまし」

「大丈夫だ心配するな、直きに連れて戻るから……」

應へる聲も次第に遠く、刑部の姿が朧夜に紛れ込んで行く。

力なく部屋に戻つた甚兵衛は、佛壇に燈明をあげて、只管、二人に加護あれかしと神佛に祈つた。

そうして、計り知れぬ人の運命が、今更のやうに恐ろしくなつて來た。

「長生きはしたくねえ、こんな無情な世の中に……」

嘆く甚兵衛の横顔、後は只行燈の燈ぐるが待ち遠しい——と云つた樣子でもあるやうだ。